

Soundcraft®  
by HARMAN

## デジタルミキサー

# Soundcraft Ui24

## 取扱説明書

Version 1.0



株式会社 サウンドハウス  
〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3  
TEL:0476(89)1111 FAX:0476(89)2222  
<http://www.soundhouse.co.jp> [shop@soundhouse.co.jp](mailto:shop@soundhouse.co.jp)

## 安全上の重要事項



ユーザーに危険を警告しています。製品内の電圧により、感電の危険性があります。



安全にご使用いただくためにマニュアルの指示に従ってください。

1. 本マニュアルに記載されている全ての警告と指示に従ってください。
2. 本体を水の近くで使用しないでください。
3. 本体を水または液体の中にいれないでください。
4. 本体に直接エアゾールスプレー、クリーナー、消毒剤や殺虫剤を使用しないでください。メンテナンスは乾いた布で拭いてください。
5. 本体の通気口をふさがないように、マニュアルの指示に従って設置してください。
6. 熱源（ラジエーター、ストーブ、アンプ）などの近くに設置しないでください。
7. 安全のため、必ずアース線をアース端子に接続してください。
8. 電源コードは踏まれたり、挟まれる事の無いようにしてください。
9. 電源コードを抜く際は、コードを引っ張らず、プラグ部分を持って引き抜くようにしてください。
10. 製品受領時に外部に損傷（電源コード等を含む）が無いか確認してください。もし製品にダメージが有った場合、ただちに販売店へ連絡してください。修理を行わずに使用を続けると更なる深刻なダメージを被る恐れがあります。その状況で使用を続けた場合は、保証期間内でも保証外の対応となる場合があります。
11. アクセサリーやパーツは、メーカーが定めた物をご使用ください。
12. 長期間使用しない場合、雷が発生した時はプラグを抜いてください。
13. 電源周りのトラブルや液体をこぼしてしまった時、高い湿度にさらされた時は、販売店に相談してください。そのまま使用を続けたり、無理に自分で修理を試みないでください。
14. 電源コードのプラグは抜き差し可能で、挿し込むだけで使用できます。
15. 日本国内のみでご使用ください。各地域の法律に従ってご使用ください。
16. 設置について疑問が生じた場合は、販売店に相談してください。

## メンテナンスと修理

本製品は最新の電子技術と素材を使用しているため、それに応じたメンテナンスと修理を行う必要があります。機材へのダメージ、使用者へのケガを防ぐためにメンテナンス/修理は **SOUNDCRAFT** の代理店にて行ってください。

注意！：この製品は **FCC 規則第 15 部** に準拠しており、**Class B digital device** に認定されています。

本製品を使用すると高周波を発信する場合があります、設置場所および使用方法によっては、無線送信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。ラジオやテレビの受信に干渉する場合は、環境に応じて使用するかどうかの判断、または下記の改善策をご検討ください。

- 受信アンテナの方向や位置を変える
- 装置と受信機の距離を離す
- 受信機が接続されているものとは別の回路のコンセントに機器を接続する
- 販売店、またはテレビ・ラジオの技術者に相談する
-

## 目次

|                          |    |
|--------------------------|----|
| 安全上の重要事項.....            | 2  |
| メンテナンスと修理.....           | 3  |
| はじめに.....                | 6  |
| 主な特長.....                | 6  |
| 仕様.....                  | 7  |
| 各部の名称.....               | 9  |
| 入力チャンネルルート .....         | 14 |
| ネットワーク接続.....            | 16 |
| ソフトウェア・コントロール.....       | 17 |
| ソフトウェアアップデート.....        | 18 |
| 共通基本操作.....              | 20 |
| MIX ページショートカット .....     | 24 |
| タブレット操作画面 .....          | 33 |
| メイン操作ボタン .....           | 33 |
| キーボードコントロールとショートカット..... | 36 |
| GUI ショートカット.....         | 37 |
| タブレットソフトウェア画面.....       | 40 |
| スマートフォン操作画面.....         | 45 |
| ミキサーチャンネル .....          | 50 |
| チャンネルストリップ .....         | 52 |
| サイドパネル .....             | 53 |
| 入力：GAIN.....             | 54 |
| 入力：MIX.....              | 56 |
| 入力：サブメニュー .....          | 59 |
| AUX SEND .....           | 64 |
| AUX MASTER .....         | 69 |
| FX SENDS .....           | 70 |
| サブグループ・マスターチャンネル .....   | 71 |
| マスターチャンネル .....          | 73 |
| マスター：サブメニュー .....        | 74 |
| チャンネル EDIT .....         | 75 |
| DigiTech .....           | 76 |



|                           |     |
|---------------------------|-----|
| パラメトリック EQ.....           | 78  |
| グラフィック EQ .....           | 81  |
| AUX / FX SENDS .....      | 90  |
| PATCHING .....            | 91  |
| VIEW グループ、MUTE グループ ..... | 95  |
| MOREME.....               | 96  |
| FX EDIT.....              | 99  |
| REVERB.....               | 100 |
| ディレイ .....                | 100 |
| コーラス .....                | 102 |
| ショー&スナップショット .....        | 104 |
| メディアプレーヤー&レコーダー .....     | 107 |
| プレイバック&レコーディング .....      | 107 |
| SETTINGS.....             | 113 |
| NETWORK CONFIG.....       | 121 |
| ダイレクト接続 (HOTSPOT) .....   | 123 |
| Wi-Fi.....                | 125 |
| 有線 LAN 設定.....            | 126 |
| トラブルシューティングガイド .....      | 129 |

## はじめに

この度は Soundcraft Ui シリーズ・ミキサーをご購入いただき、誠にありがとうございます。Ui シリーズは、タブレットや PC からリモートコントロール可能な I/O ボックスタイプのデジタルミキサーです。iOS、Android、Windows、Mac OS に対応。呼び出し可能なマイクゲインとファンタム電源、4 バンド・パラメトリック EQ、ダイナミクスを備えています。本製品の性能を最大限に発揮させ、末永くお使いいただくため、ご使用になる前に、この取扱説明書を必ずお読みください。

## 主な特長

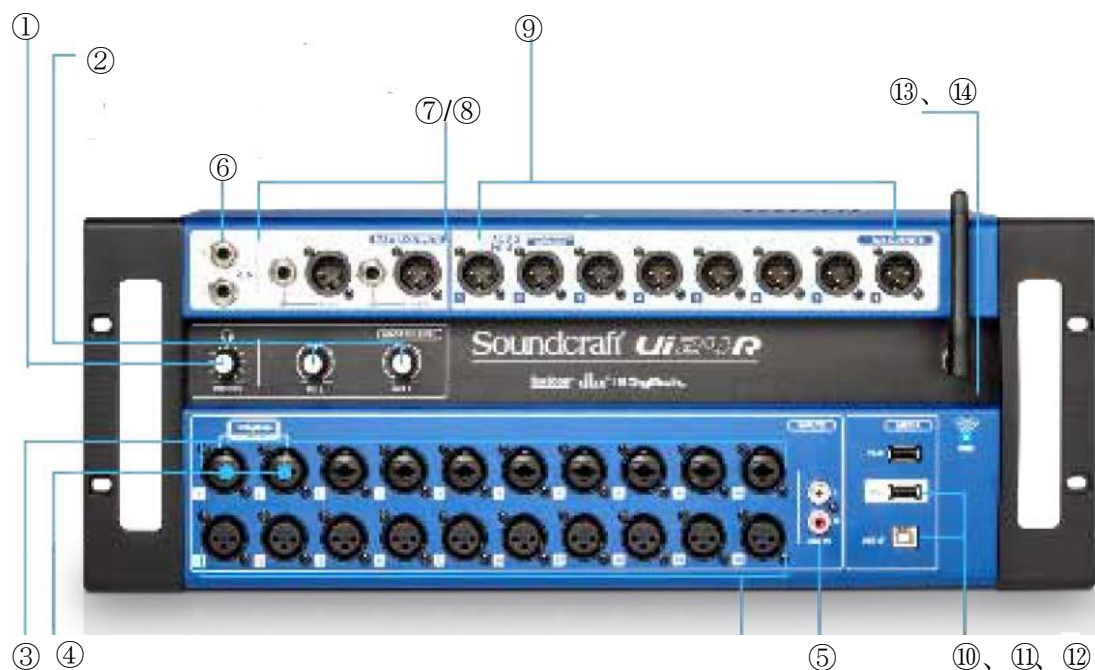
- タブレット、PC、スマートフォンからコントロール可能
- デュアルアンテナ 2.4G、5G WiFi 及び有線 LAN 搭載
- iOS、Android、Windows、Mac OS、Linux の各 OS で動作可能
- 同時に 10 台の端末からコントロール可能
- dbx、Digitech、Lexicon で実績のある Harman シグナル・プロセッサ使用
- リコールとリモートコントロール可能なマイク・プリアンプ
- 入力チャンネルで使用可能な 4 バンド・パラメトリック EQ、ハイパスフィルター、ローパスフィルター、コンプレッサー、ディエッサー、ノイズゲートを搭載
- 全出力チャンネルで使用可能な 31 バンドグラフィック EQ、ノイズゲート、コンプレッサーを搭載
- 入出力用に Real-Time Frequency Analyzer (RTA) 搭載
- 4 つの専用 Lexicon FX エフェクトプロセッサ搭載：リバーブ、ディレイ、コーラス
- サブ・グループ x 4、VCA x 6、ミュート・グループ、ビュー・グループ、他 MOREME ミキサーコントロール使用可能
- チャンネルセーフ・ロックアウト付きショー/スナップショット・リコール
- 2 チャンネル・オーディオ再生、レコーディング用 USB 端子、22 マルチトラック USB レコーディング可能
- 32 x 32 USB オーディオインターフェイス
- IEC 電源コネクタ搭載
-

## 仕様

|               |                                                                                                                        |
|---------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| モデル           | Ui24R                                                                                                                  |
| 周波数特性(±0.5dB) | 20Hz – 20kHz                                                                                                           |
| THD(ひずみ量)     | マイク入力(最小ゲイン、パス)@1kHz<0.005%<br>マイク入力(最大ゲイン、パス)@1kHz<0.008%                                                             |
| ノイズ           | Residual Output Noise: -96dBu<br>マイク入力 Equivalent Input Noise: -128dB 重みなし(22Hz – 22kHz)                               |
| 入力ゲイン         | Mic/Line ゲイン -40dB – +50dB(0.1dB ステップ):精度は画面のフェーダーの大きさによる)                                                             |
| ゲート           | スレッシュホルド -inf – +6dB<br>Attack 1ms – 400ms<br>Release 5ms – 2000ms<br>Hold 1ms – 2000ms<br>Depth -inf – 0dB            |
| コンプレッサー       | スレッシュホルド -90dB +6dB<br>Ratio 1:1 -50:1<br>Attack 1ms – 400ms<br>Release 10ms – 2000ms<br>Makeup ゲイン -24dB – +48dB      |
| 4 バンド EQ      | バンド周波数: 20Hz – 22kHz<br>Q: 0.05 – 15<br>Gain: -20dB – +20dB<br>HPF: 20Hz – 1kHz(スロープ選択可)<br>LPF: 22kHz – 1kHz(スロープ選択可) |
| ディエッサー        | スレッシュホルド: -90dB – 6dB<br>Ratio inf – 1:1<br>周波数 2kHz – 15kHz                                                           |
| EQ 出力         | 31 バンド GEQ、20Hz- 20kHz ±15dB                                                                                           |
| コンプレッサー出力     | スレッシュホルド -90dB +6dB<br>Ratio: 1:1 – 50:1<br>Attack: 1ms – 400ms<br>Release: 10ms – 2000ms                              |

|               |                                                                                                                   |
|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|               | Makeup Gain: -24dB - +48dB                                                                                        |
| dbx AFS (全出力) | 12 パラメトリック EQ (6 固定、6 フローティング)                                                                                    |
| レイテンシー        | 入出力に対して全プロセッシングを ON にした場合: 3.2ms                                                                                  |
| 入出力レベル        | Mic 入力: +19.5dBu 最大<br>Line 入力: +19.5dBu 最大<br>Mix 出力: +20.5dBu 最大<br>ヘッドホン (120Ω): 500mW (片チャンネル)、380mW (両チャンネル) |
| 入出力インピーダンス    | Mic 入力 1、2: 10kΩ<br>Mic 入力 3 - 20: 6kΩ<br>Line 入力: 12kΩ<br>Hi-Z 入力: 600kΩ<br>バランス出力: 150Ω                         |
| USB           | 最大電流: 500mA (1 ポート)<br>最大電流: 900mA (2 ポート)                                                                        |
| 電源            | 消費電力: 65W<br>AC 入力: 88 - 265VAC、オートセンシング<br>周波数 47 - 63Hz                                                         |
| 動作環境          | 周囲温度: 5°C - 40°C<br>湿度: 0% - 90%<br>保管温度: -20°C - 60°C                                                            |

## 各部の名称



### 1. PHONES



ヘッドホン出力のレベルを調整します。個々のヘッドホン音量は、SETTINGS ページから設定できます。音源はメイン（初期設定）と Solo バス（AFS/PFL が選択されたとき）を切り替ええます。

### 2. MIX L /MIX R



MIX L と MIX R 出力レベルを調整します。信号はメイン L/R（XLR 端子）と MIX L/R（フォン端子）に出力されます。

### 3. COMBO INPUT



MIC/LINE 入力（XLR フォン・コンボ端子）です。入力番号は Ui コントロールソフトウェアのチャンネル番号に対応しています。

### 4. XLR INPUT



MIC 入力（XLR）。入力番号は Ui コントロールソフトウェアのチャンネル番号に対応しています。

## 5. LINE IN



LINE 入力 L/R (RCA 端子) です。

## 6. HEADPHONE OUT



ヘッドホン出力 (フォン端子) が 2 つあります。Solo チャンネルがアクティブのとき以外は、2 つ共にメインからの信号が出力されます。各音量は、Solo レベルと同様、SETTINGS ページから個別にコントロールできます。

## 7. MIX L/R OUTPUT (XLR)



マスター出力 (XLR) です。フォン出力とは同じ信号が接続されています。

## 8. MIX L/R OUTPUT (フォン)



マスター出力 (フォン) です。XLR 出力とは同じ信号が接続されています。

## 9. AUX/MATRIX OUTPUT (XLR)



AUX/MATRIX 出力 x 8 です。出力はソフトウェアにより割り当てられます。

## 10. 2トラック MEDIA-PLAY



オーディオ再生用 USB メモリーを挿入します。再生できるファイル形式は MP3、AAC、WAV、OGG、AIFF、FLAC です。ショーファイルの保存、スナップショット import/export、ソフトウェア・アップデートに使用できます。ユニットのサイドパネルにさらに 2 つの USB 端子があります。

## 11. MEDIA-REC + マルチトラック再生/録音



レコーディング用 USB メモリーを挿入し、マスターチャンネル出力を USB メモリーにステレオ録音します。

## 12. USB B (DAW 接続)



PC/Mac に本製品を接続し、CORE Audio、ASIO ドライバーで使用できる 32 x 32 USB オーディオインターフェイスとして使用できます。

## 13. WiFi アンテナ



WiFi ネットワーク送受信アンテナです。

## 14. WiFi 表示



本製品の電源を ON にした後、LED が点滅し始めます。システムが正常に立ち上がり、WiFi が使用可能になったとき点灯に変わります。

※ LED の点滅が止まらない時は、ソフトウェアが正常にロードされなかった可能性があります。再度、電源を入れ直してください。





#### 15. RESET (左サイドパネル)



ユニット全体をリセットします。ネットワーク設定のみをリセットする場合、リセットボタンを 10 秒以上長押しします。

#### 16. FOOTSWITCH (左サイドパネル)



フットスイッチを接続するフォン端子です。接続自動検出機能付のため、フットスイッチの接点は非ラッチタイプを使用してください。

#### 17. USB 1&2 (左サイドパネル)



キーボード、マウス、タッチスクリーンなどを接続できます。フロントパネルの USB ポートは主に録音、再生に使用します。

#### 18. HDMI



HDMI ビデオコネクタです。外部 HDMI 対応ディスプレイにミキサー Web 画面を表示できます。画面品質はミキサーの使用状態により変わります。(USB MTK スティックに録画中は画面の更新が遅れる場合があります。

#### 19. ETHERNET



イーサネットケーブルを接続します。初期 IP アドレスは 10.10.2.1 です。



## 20. イーサネット 2



拡張用イーサネットポートです。

## 21. PWR（右サイドパネル）



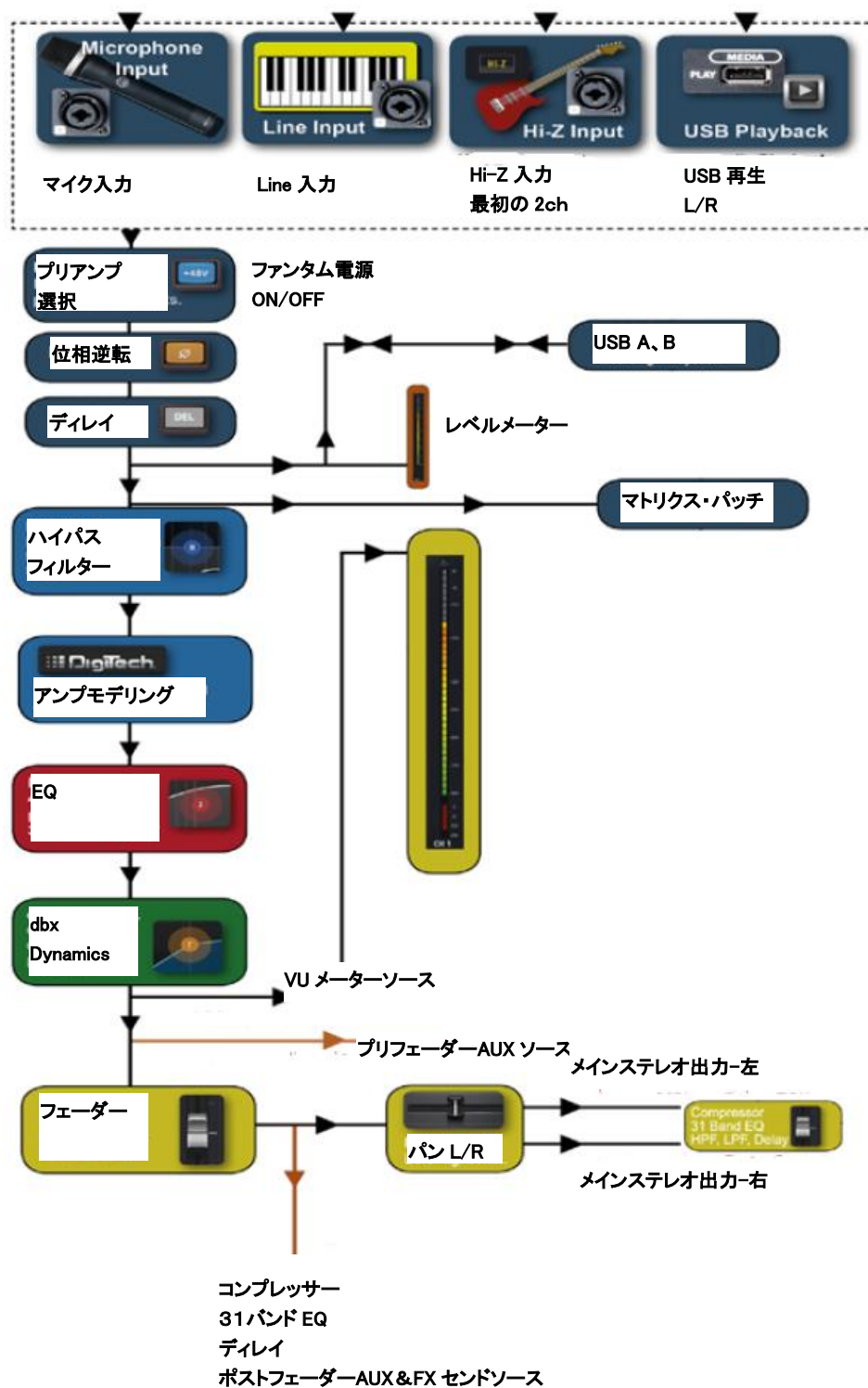
電源コネクタ、スイッチ

## 入力チャンネル・ルート

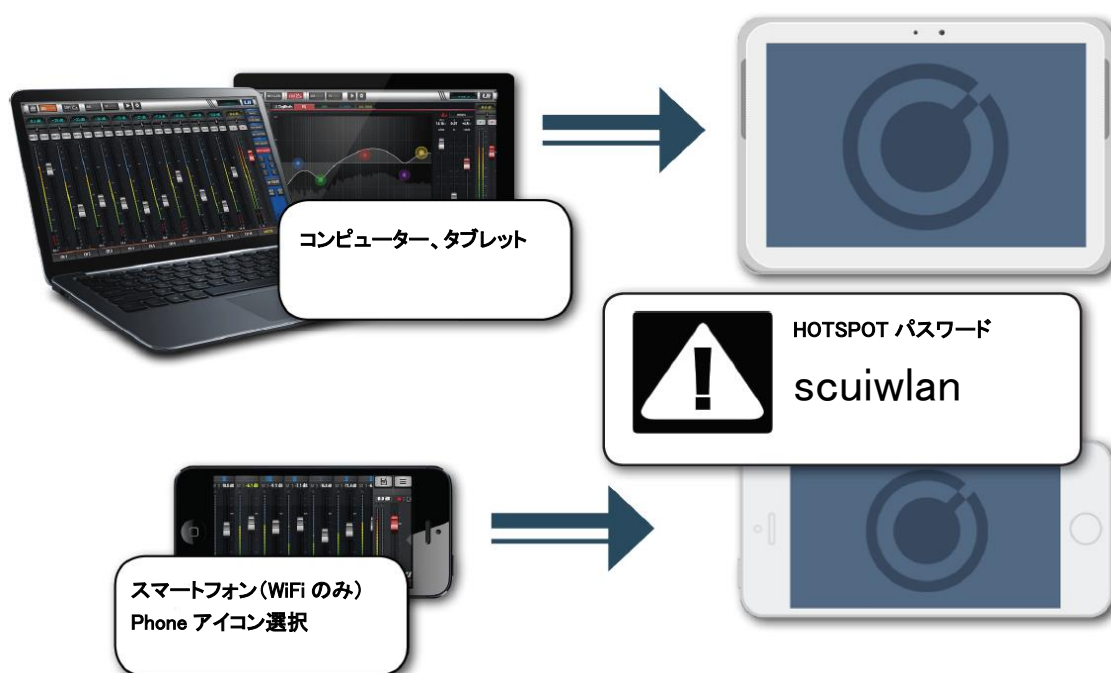
下図のフローダイアグラムは入力端子からセンドバス（AUX、FX、Mix など）までのオーディオ信号の流れを表します。

### 注意

本製品はハードウェアプリと DAC 出力を除くオーディオ信号経路全体を通してクリップフリーとなっています。すなわち、EQ のゲインを最大にしても、内部でクリップが起こることはありません。マスターチャンネルのレベルを効果的に調整し出力に対してクリップが発生するのを防ぎます。



## ネットワーク接続



本製品は Wi-Fi ダイレクト接続により、コンピューター、タブレット、スマートフォンなどの各種デバイスから、全ての機能をコントロールすることができます。また、ルーターに接続し、無線、有線ネットワークからインターネットに接続することもできます。

1. 本製品に Wi-Fi アンテナが取り付けられていることを確認してから電源を ON にすると、Wi-Fi LED が点滅し始めます。システムが正常に立ち上がり、Wi-Fi が使用可能になったとき点灯に変わります。
2. コントロールするデバイスをネットワークに接続します。アクセスポイントは「Soundcraft Ui」を選択してください。初めて接続する時はパスワード「scuiwlan」を入力する必要があります。
3. デバイスのブラウザを立ち上げて、「ui-mixer.io」を開きます。  
推奨するブラウザ  
Chrome、Safari の最新版  
Android デバイス : Android ブラウザ 4.4 以降
4. コントロール画面が開いたら、使用するデバイスによって画面の大きさを選択してください。  
tab : 大型画面  
phone : 小型画面

## 注意

最初にネットワークに接続した後、「Settings」メニューから「NETWORK」を押しパスワードを変更してください。

## ソフトウェア・コントロール

Ui シリーズのブラウザベースのソフトウェアコントロールは、2 つのバージョンであらゆるデバイスで利用できます。

携帯電話サイズの端末に最適化された小画面版と、タブレット端末やパソコンに最適化された大画面版です。Ui ミキサーを最大限に活用するために、このソフトウェアコントロールのセクションを必ずお読みください。Ui の制御を大幅に簡素化するナビゲーションとメニューアクセス機能がいくつかあります。



Ui シリーズのブラウザベースのソフトウェアコントロールは、実際には Ui 本体内の仮想ウェブサーバーから実行され、コントロールデバイスで実行されている最新のブラウザソフトウェアと互換性があります。Android の場合は、Android ブラウザ 4.4 以降、または Chrome などの最新ブラウザで Ui の Web アプリを利用する必要があります。最大 10 台のコントロールデバイスを同時に使用可能(使用可能な帯域幅に依存)です。

## ソフトウェアアップデート

ソフトウェアアップデートに関する情報は Soundcraft のホームページに掲載されています。  
本製品に搭載されているソフトウェアバージョンは次の手順でチェックできます。

PC タブレット版：「SETTINGS」メニューから「ABOUT」タブを開く

スマートフォン版：「SETTINGS」メニューから「HELP」タブを開く

### ソフトウェアアップデート手順

1. PC、タブレットなどのデバイスからブラウザを開いて、Soundcraft のホームページから Ui ソフトウェア・アップデート・ファイルを.zip のままダウンロードします。
2. .zip ファイルを USB メモリーにコピーします。  
注意：コピーする前に、USB メモリーに.zip の拡張子を持つファイルが無いことを確認してください。
3. デバイスを WiFi 経由で本製品に接続し、ブラウザから「ui-mixer.io」を開きます。
4. .zip ファイルをコピーした USB メモリーを本製品の USB ポートに挿し込みます。
5. USB メモリーがデバイスにマウントされます。約 10 秒後にソフトウェアが認識されます。
6. 「OK」を押してアップデートを開始します。
7. アップデートが終わるとメッセージが表示されます。
8. 本製品とデバイス両方をシャットダウンして電源を切り、再度投入します。
9. 新しいバージョンのソフトウェアが画面に表示されます。

### ミキサーのリセット

#### ネットワーク・リセット

ネットワークに接続できない時、またはパスワードを忘れてしまった場合、本製品をリセットします。

1. 電源スイッチを ON にして、サイドパネルにある RESET ボタンを約 10 秒間長押しします。
2. ネットワークがリセットされます。
3. パスワードが初期値（scuiwlan）に戻ります。

フル・リセット（工場出荷時に戻す）

スナップショット、登録ユーザー、プロフィール、ショーを含む全ての設定工場出荷時に戻します。ショーに関してはバックアップを取ることを推奨します。

1. PC、タブレット上で **fullreset.txt** という名前のテキストファイルを作成し、USB メモリーにコピーします。ファイルはブランクのままにしてください。
2. USB メモリーを本製品の USB ポートに挿入します。
3. 電源スイッチを ON にして、サイドパネルにあるリセットボタンを約 10 秒間長押しします。
4. USB メモリー上の **Fullreset.txt** ファイルが認識され初期化が行われます。
5. 本製品とデバイス、両方の電源を OFF にします。
6. 約 10～15 秒後に両方の電源を ON にします。
7. WiFi LED が約 10～15 秒間点滅し、点灯に変わります。

#### 注意

電源のオフ/オンを繰り返すと、ほとんどの場合、正常に起動できず、スタックすることがあります（青色の Wi-Fi LED が連続点滅する）。必ず電源をオフにして、10～15 秒待ってから電源をオンにしてください。青色の Wi-Fi LED は約 10-15 秒間点滅し、その後点灯したままになります。

## 共通基本操作

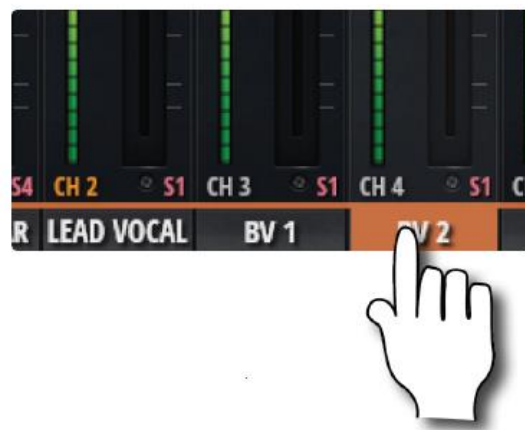
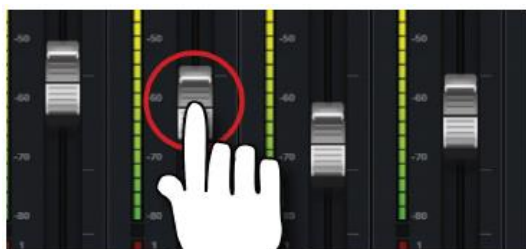
タブレット版とスマートフォン版の操作はいくつかの例外を除いて共通です。ここでは、スマートフォン版とタブレット版の画面が大きく変わらない限り、スマートフォン版の画面を使用します。

### 画面スクロール



FX センド、AUX センド、グループマスターを含むミキサー画面を左右にスクロールします。

### フェーダー／チャンネル名



フェーダーまたはチャンネル名をタッチしてチャンネルを選択します。一度選択されると、別のチャンネルが選択されるまで保持されます。

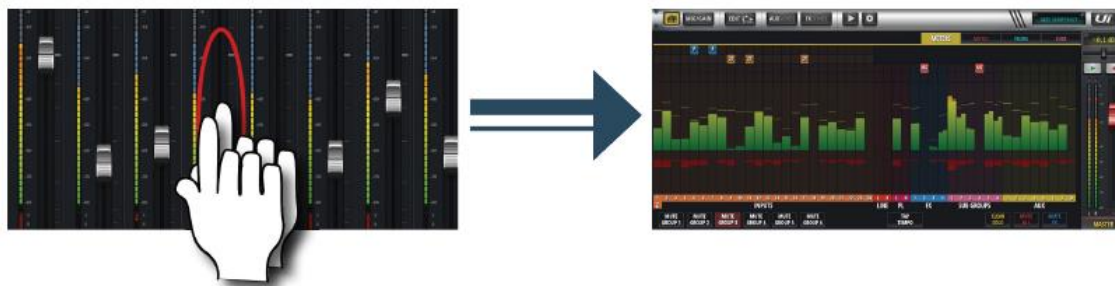
### フェーダーをダブルタップ



チャンネル EQ をアクセスします。



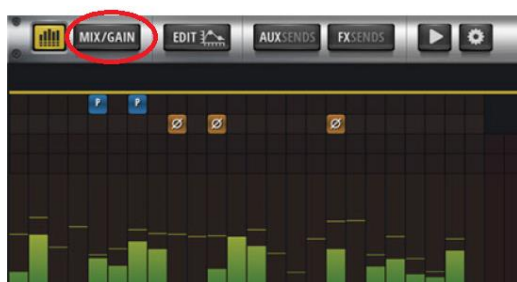
## チャンネルをダブルタップ



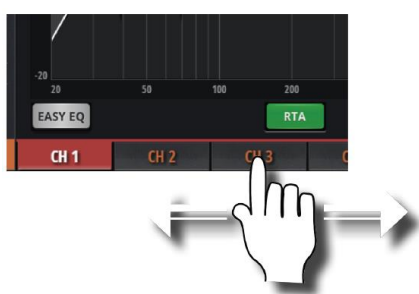
MIX 画面

METER 画面

フェーダーを除くチャンネル部分をダブルタッチすると **METER** 画面を開くことができます。MIX/GAIN ボタンを押して MIX 画面に戻ります。



## チャンネル・スクロール



チャンネル名をタッチ&ホールドしてスライドさせると、**FX** センド、**AUX** センド、**Group** フェーダーを含むチャンネル画面全部を他のチャンネルに切り替えることができます。



ダッシュボード画面

## ダッシュボード画面

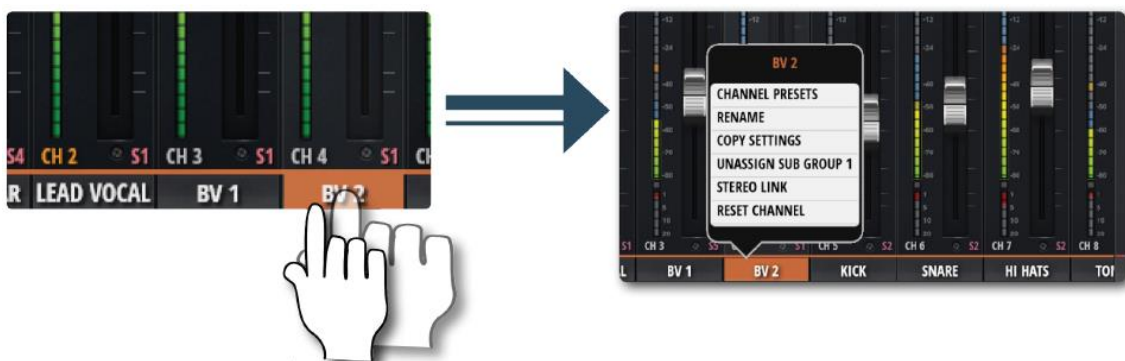
スマートフォン

チャンネル名をダブルクリックすると、ダッシュボード画面が開きます。EQ、dynamics、AUX、FX センドなどのコントロールが可能です。

タブレット

「EDIT」ボタンを押すと、ダッシュボード画面が開きます。

## サブメニュー



チャンネル名を長押しするとサブメニューが開きます。CHANNEL PRESET、RENAME、COPY SETTINGS、ASSIGN SUB GROUP、STEREO LINK、RESET CHANNEL、ASSIGN ME が選択可能です。

## サイドパネルメニュー

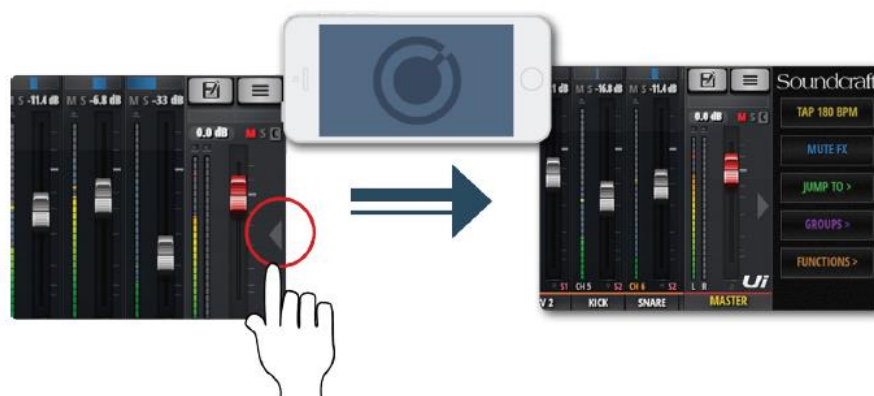
MIX 画面の右側にサイドパネルメニューを表示させることができます。サイドパネルメニューは固定させることもできます。

## タブレット



画面右上「Ui」ボタンをタッチするとサイドパネル・メニューを表示させることができます。サイドパネル・メニューを使用すると同じチャンネルグループ内の MUTE、VIEW グループ、TAP TEMPO、MUTE ALL、MUTE FX をコントロールすることができます。

## スマートフォン

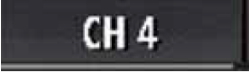
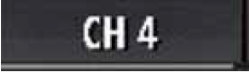


画面右端にある◀をタッチして右にスライドさせます。TAP TEMPO、MUTE FX、JUMP TO (ミキサーメニュー)、GROUP (ミュート、ビューグループ)、FUNCTIONS (再生、録音)

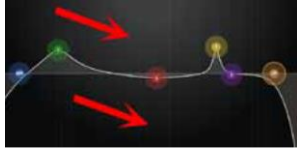
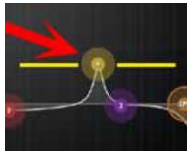
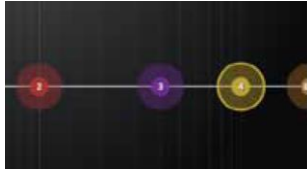
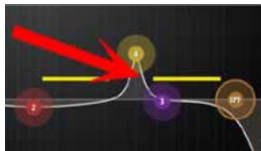
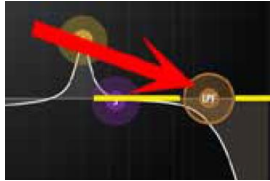
## MIX ページショートカット

### SOFTWARE > CONTROL SUMMARY:MIX PAGE SHORTCUTS

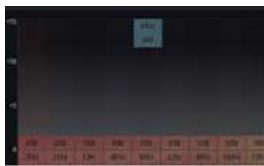
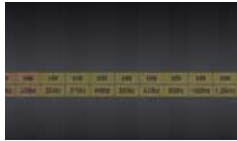
|                                      |                            |                                                                                      |
|--------------------------------------|----------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| LCD ディスプレーアイコンをダブルクリック/タップ           | チャンネルボリュームを 0 にする          |   |
| パン/バランスアイコンをシングルクリック/タップ             | チャンネルLCDディスプレイにパン/バランス値を表示 |    |
| パン/バランスアイコンをダブルクリック/タップ              | パン/バランス値を中央に戻す             |    |
| INPUT チャンネルストリップゾーンをダブルクリック/タップ      | METERS ページへ移動              |    |
| LINE INPUT チャンネルストリップゾーンをダブルクリック/タップ | METERS ページへ移動              |   |
| PLAYER チャンネルストリップゾーンをダブルクリック/タップ     | PLAYER/MEDIA ページへ移動        |  |
| FX RETURN チャンネルストリップゾーンをダブルクリック/タップ  | FX SENDS ページへ移動            |  |
| SUG GROUP チャンネルストリップゾーンをダブルクリック/タップ  | PLAYER/MEDIA ページへ移動        |  |
| AUX MASTER チャンネルストリップゾーンをダブルクリック/タップ | AUX SENDS ページへ移動           |  |

|                                                           |                                            |                                                                                       |
|-----------------------------------------------------------|--------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| チャンネル・フェーダーキヤップをダブルクリック/タップ                               | チャンネル EDIT モード EQ タブへ移動                    |    |
| チャンネルタイプ (INPUT、LINE IN、PLAYER、SUB GROUP、AUX をダブルクリック/タップ | チャンネル EDIT ページ DYN タブを選択                   |    |
| チャンネルラベル (チャンネルタイプ : FX RETURN) をダブルクリック/タップ              | チャンネル EDIT ページ FX タブ (グローバル FX パラメーター) を選択 |    |
| チャンネルラベルを長押し                                              | チャンネルポップアップメニューを表示                         |    |
| ナビゲーションパネルのトップ画面にある LCD ディスプレーアイコンをシングルクリック/タップ           | ショー/スナップショットのポップアップ・リストを表示                 |   |
| ナビゲーションパネルのトップ画面にある LCD ディスプレーアイコンを長押し                    | SETTING ページ SHOWS タブに移動                    |  |
| MASTER チャンネルにある LCD ディスプレーアイコンをシングルクリック/タップ               | METERS ページに移動                              |  |

SOFTWARE > CONTROL SUMMARY:CHANNEL EDIT PAGE PARAMETRIC EQ

|                                         |                                              |                                                                                      |
|-----------------------------------------|----------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| 何もない所をダブルクリック/タップ                       | MIX ページに移動                                   |    |
| PEQ 周波数ボールをドラッグ                         | dB ゲインを上下に、周波数を左右に調整。                        |    |
| 周波数ボールをダブルクリック/タップ                      | 選択した周波数バンドを 0dB、周波数を初期設定にリセット                |    |
| 周波数ボールをピンチ/マウスホイール/トラックパッドで広げる          | Q 値の調整                                       |   |
| DE-ESSER 周波数ボールをドラッグ                    | 周波数と dB スレッシュホールドを調整                         |  |
| DE-ESSER 周波数ボールをピンチ/マウスホイール/トラックパッドで広げる | Ratio を調整                                    |  |
| LPF/HPF 周波数ボールをドラッグ                     | LC/HPF 周波数を調整<br>注意<br>カーブのスロープをパネルメニュー選んで調整 |  |

SOFTWARE > CONTROL SUMMARY:CHANNEL EDIT PAGE GRAPHIC EQ

|                                                    |                       |                                                                                     |
|----------------------------------------------------|-----------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| Master EQ、AUX1-2 において HPF と LPF EQ をドラッグし欲しい周波数を選択 | Master EQ、AUX1-2 のみ有効 |   |
| GEQ 周波数                                            | 選択した周波数の dB ゲインを調整    |   |
| GEQ 周波数をダブルクリック/タップ                                | 選択した周波数を 0dB にリセット    |   |
| GEQ をドラッグして他の周波数（画面サイズに依存）                         | 左上コーナーに全 31 バンド表示     |  |

# SOFTWARE > CONTROL SUMMARY:CHANNEL EDIT:AUX SENDS

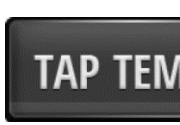
|                                 |                              |                                                                                     |
|---------------------------------|------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| チャンネルストリップの<br>PRE/POST ボタンを長押し | 全ての Pre/Post を設定             |  |
| チャンネルストリップゾーンをダブルクリック/タップ       | MIX ページに移動                   |  |
| チャンネルラベルをダブルクリック/タップ            | 選択したチャンネル EDIT ページ DYN タブに移動 |  |
| チャンネルラベルを長押し                    | チャンネルポップアップメニューを選択           |  |
| チャンネルLCDをダブルクリック/タップ            | ゼロレベルに戻る                     |  |

# SOFTWARE > CONTROL SUMMARY:CHANNEL EDIT:FX SENDS

|                             |                              |                                                                                       |
|-----------------------------|------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| チャンネルストリップゾーンをダブルクリック/タップ   | MIX ページに移動                   |  |
| チャンネル・フェーダーキヤップをダブルクリック/タップ | チャンネル EDIT モード EQ タブへ移動      |  |
| チャンネルラベルをダブルクリック/タップ        | 選択したチャンネル EDIT ページ DYN タブに移動 |  |
| チャンネルラベルを長押し                | チャンネルポップアップメニューを選択           |  |



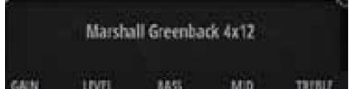
# SOFTWARE > CONTROL SUMMARY:SLIDEOUT PANEL SHORTCUTS

|                                                          |                                              |                                                                                      |
|----------------------------------------------------------|----------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| リスト項目選択<br>選択パラメーターをダブル<br>クリック/タップしてリスト<br>ボックスに選択項目を表示 | 「load」 ボタンも使用可能                              |    |
| SUB GROUP を長押し                                           | Sub Group 構成 (METERS<br>ページ、SUBS タブ) に移動     |    |
| VIEW GROUP を長押し                                          | View 構成 (METERS ページ、<br>VIEW タブ)             |   |
| MUTE GROUP を長押し                                          | ミュートグループ構成<br>( METERS ページ、<br>MUTES タブ) に移動 |  |
| TAP TEMPO を長押し                                           | テンポ設定                                        |  |

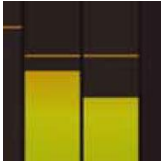
HOME ボタンを押すといつでもメイン画面に戻れます。設定メニューから BIGGER SLIDOUT パネルを選択して操作してください。PIN を設定しておき、いつでもこの画面に行けるようにすると便利です。



# SOFTWARE > CONTROL SUMMARY:CHANNEL EDIT PAGE

|                                    |                    |                                                                                      |
|------------------------------------|--------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| Digitech タブ<br>アンプヘッドをシングルクリック/タップ | アンプリストを表示          |    |
| Digitech タブ<br>キャビネットをシングルクリック/タップ | キャビネットリストを表示       |    |
| DYN タブ<br>空いているスペースをダブルクリック/タップ    | MIX ページに移動         |    |
| DYN タブ<br>スレッシュOLDボールをドラッグ         | ダイナミクスのスレッシュOLDを調整 |    |
| DYN タブ<br>Ratio ボールをドラッグ           | ダイナミクスの Ratio 値を調整 |   |
| FX タブ<br>空いているスペースをダブルクリック/タップ     | MIX ページに移動         |  |
| FX タブ<br>FX ラックをシングルクリック/タップ       | プリセットマネージャーに移動     |  |
| AUX タブ<br>空いているスペースをダブルクリック/タップ    | MIX ページに移動         |  |

SOFTWARE > CONTROL SUMMARY:METERS PAGE

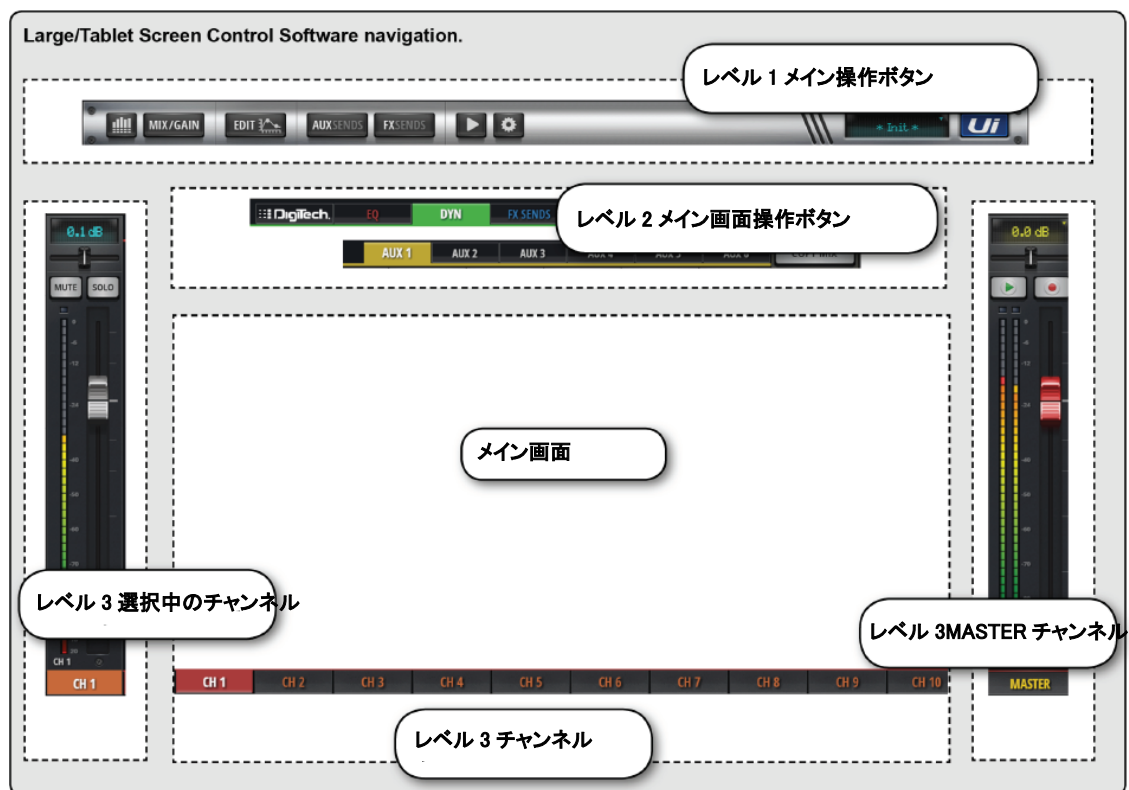
|                                      |                   |                                                                                     |
|--------------------------------------|-------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| チャンネルメーターVU ゾ<br>ーンをシングルクリック/タ<br>ップ | MIX ページの関連チャネルに移動 |  |
| TAP ボタンを長押し                          | テンポ設定へ移動          |  |

# SOFTWARE > CONTROL SUMMARY/SHORTCUTS

|                                                       |                                             |                                                                                      |
|-------------------------------------------------------|---------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>SLO-MO FINE</b><br><b>ADJUSTMENT</b> フェーダー<br>を長押し | パラメーターの詳細調整                                 |    |
| <b>SET TO ZERO</b><br>ダブルクリック                         | パラメーターをゼロにリセット                              |    |
| <b>JUMP TO METERS/AUX</b><br>ダブルクリック                  | そ の チ ャ ン ネ ル の<br><b>METERS/AUX</b> ページに移動 |    |
| <b>JUMP TO EQ/DYN</b><br>ダブルクリック                      | ダブルクリック                                     |    |
| <b>CHANGE FX</b><br>長押し                               | エフェクトをポップアップ<br>メニューから変更                    |   |
| <b>DOTTED TABS</b><br>長押し                             | 右コーナーにドットがある<br>タブを押すと、ショートカ<br>ット機能が起動     |  |

## タブレット操作画面

MIX 画面は、Ui タブレット/大画面ソフトウェアの初期画面で、他の画面や機能へ、さまざまな方法で移動することができます。レベル 1 のナビゲーションコントロールは様々な主要画面に直接移動し、レベル 2 のナビゲーション（ページタブ）は選択した画面内のレイヤーを切り替え、レベル 3 のナビゲーションコントロールは個々のチャンネルを選択することができます。



## メイン操作ボタン

### METERS



METERS ページにアクセスします。さらに MUTES（ミュートグループ設定）、VIEWS（ビューグループ設定）、VCA、SUBS（サブグループ設定）タブにアクセスします。初期のメーターページは、ファンタム電源、位相、ミュート、ソロ、レベル、ゲイン・コントロール・メーターを表示。さらに、CLEAR SOLO、MUTE ALL、MUTE FX、ボタンにアクセスできます。

## MIX/GAIN



MIX/GAIN ページにアクセスします。

ボタンがオレンジ色の場合、MIX ページがチャンネル・フェーダーを表示し、赤の場合、GAIN ページがリモートゲインフェーダーと入力ステージコントロールを表示します。

## EDIT



選択したチャンネルの EDIT ページにアクセスし、ページ構成を編集します。入力チャンネルの EDIT ページに EQ、Dynamics、AUX センド、FX センドタブを置くなどです。FX センドメインページから EDIT を選択すると、FX センドタブが自動的に選択されるようになります。

## AUX SENDS



AUX SENDS ページにアクセスし、選択した AUX バスの AUX センドレベルをフェーダービューで表示します。AUX SENDS ページから EDIT を選ぶと、選択した入力チャンネルの FX センドタブが自動的に選択されます。

## MEDIA



MEDIA ページにアクセスし、再生や録音、プレイリストとトラック選択を行います。再生 L と再生 R チャンネルを画面左側に表示します。

## SETTINGS



SETTING ページにアクセスしてシステムとミキサーの設定と構成を実行します。

## SNAPSHOT



ショーとスナップショットポップアップメニューにアクセスして、ロードします。

## SLIDEOUT



画面の右にある **SLIDEOUT** にアクセスして、クイックビューとステータス・スイッチング機能を実行します。**SLIDEOUT** ビューでは、**MIX** と **AUX/FX** センドページ、それぞれ別々にピン止めして表示できます。

## キーボードコントロールとショートカット

ミキサーにキーボードを接続して、ミキサーの機能に素早く効果的にアクセスできます。下記にキーのショートカット例を示します。

1 = Meters

2 = Toggle Mix/Gain

3 = Edit

4 = Aux Sends

5 = FX Sends

6 = Player

7 = Settings

8 = Slide Out

9 = Meters

q = Toggle Inputs

w = Toggle FX Masters

e = Toggle Sub Group Masters

r = Toggle Aux Masters

t = Toggle VCA Masters

p = channel presets (for channels that have channel presets)

a = Mute All

s = solo currently selected hannel

f = Mute FX

x = 2-track record

c = Currently selected channel pop menu

m = Mute currently selected channel

スペース = Slide Out

タブ = toggle through L2 tabs

バックスペース = last page

右矢印 = Select next channel

左矢印 = Select previous channel

上矢印 = Bank jump forward to next visible channel

下矢印 = Bank jump backwards to next visible channel

ESC キー = Take me home



## GUI ショートカット

### ナビゲーションバーLCD 長押し

- SETTINGS->SHOWS

### マスター・チャンネル・ストリップ LCD

- トグル MIX と METERS ページのビューを切り替え

### パンスライダー

- シングルクリックで LCD に値を表示
- ダブルクリックでセンターにリセット

### フェーダーキャップ

- EDIT->GEQ へジャンプ
- 2 秒以上長押し (MASTER LOCK が ENABLED、HOLD FADER FOR FINE TUNING が ON のとき)
- 一時的にフェーダーをアンロックしてフェーダーの値を調整
- 4 秒以上長押し (MASTER LOCK が OFF、HOLD FADER FOR FINE TUNING が 2 秒のとき)

HOLD FADER FOR FINE TUNING に移動

### チャンネルラベル

長押ししてチャンネルポップメニューを有効にする

### Meters ページ

- チャンネルメーター
- チャンネルを選択し MIX ページにジャンプ
- METERS / MUTES / VIEWS / SUBS / VCA 画面の空きスペースをダブルクリックして MIX ページに戻る

## チャンネルストリップ

### LCD

- ダブルクリックしてメーターを 0dB にリセット
- 長押しして数値を入力

### パンスライダー

- シングルクリックで LCD に値を表示
- ダブルクリックでセンターにリセット

### チャンネル・ストリップ

- Inputs/LINE/SUB GROUPS : VU ゾーンをダブルクリックして Meters に移動
- PLAYER : ダブルクリックして Player に移動
- FX マスターゾーン : ダブルクリックして FX SENDS に移動
- AUX マスター : ダブルクリックして AUX SENDS に移動

### フェーダーキャップ

- ダブルクリックして EDIT->EQ (VCA を除く)に移動

### チャンネルラベル

- 長押ししてチャンネルポップメニューを有効にする
- ダブルクリックして EDIT->COMP (FX マスターを除く)に移動
- FX Master をダブルクリックして EDIT->FX SENDS に移動

#### EDIT ページ

- 画面空きスペースをダブルクリックして MIX ページに移動

#### AUX センド

- タブキーを押して AUX マスターチャンネルを切りかえ。
- チャンネル・ストリップゾーン：ダブルクリックして MIX ページに移動

#### FX センド

- タブキーを押して FX マスターチャンネルと切りかえ
- チャンネル・ストリップゾーン：ダブルクリックして MIX ページに移動
- 

#### スライドアウト (小)

- サブグループ・ボタン：長押しして METERS->SUBS に移動
- ビューグループ・ボタン：長押しして METERS->VIEWS に移動
- ミュートグループ・ボタン：長押しして METERS->MUTES に移動
- タップ・テンポ・ボタン：長押しして手動入力テンポに移動

#### スライドアウト (大)

- ミュートグループ・ボタン：長押しして METERS->MUTES (選択中) に移動
- ビューグループ・ボタン：長押しして METERS->VIEWS (選択中) に移動
- タップ・テンポ・ボタン：長押しして手動入力テンポに移動

一般的なケースとして、空きスペースをダブルクリックすると、MIX ページに移動

タップ・テンポ・ボタン：長押しして手動入力テンポに移動

## タブレットソフトウェア画面

各画面に画面上のナビゲーションボタンからアクセス可能です。また、フェーダーをダブルタップして素早く **EQ** 画面にアクセスするなど、ショートカットも利用できます。

### METERS

**METERS**（全チャンネル）、**MUTES**（ミュートグループ割り当て）、**VIEWS**（ビューグループ割り当て）、**SUBS**（サブグループ割り当て）のタブがあります。

また、**VU** メーター、**ゲイン**メーター（全チャンネル）、**CLEAR SOLOS**、**MUTE FX**、**MUTE ALL** ボタン、全ミュートボタンがあります。



### MIX

最も頻繁の使用される画面です。フェーダーを使用して各チャンネルのゲインをコントロールします。チャンネルは左から右に入力チャンネル・フェーダー、ライン入力フェーダー、メディア・プレーヤー・フェーダー、**FX** リターン・フェーダー、**Sub Group** フェーダー、**AUX Master** フェーダーとなっています。表示されるフェーダーは **Ui** の機種により異なります。



## GAIN

ゲイン、位相反転、ファンタム電源 ON/OFF をコントロールするボタンがあります。赤いフェーダーレベルラインによりチャンネルのレベルが一目で分かります。

注意

DAW や USB A 再生を選択しているとき、これらの機能は無効になり、最初の 20 チャンネルマイク入力以降、別のパラメーターが録音用に使用されます。



## EDIT

グラフィック EQ、DYNAMICS、FX のプロセッサーをコントロールできます。チャンネルタイプによりコントロールできるプロセッサーのタブが表示されます。AUX と Master Channel はグラフィック EQ タブが表示されます。



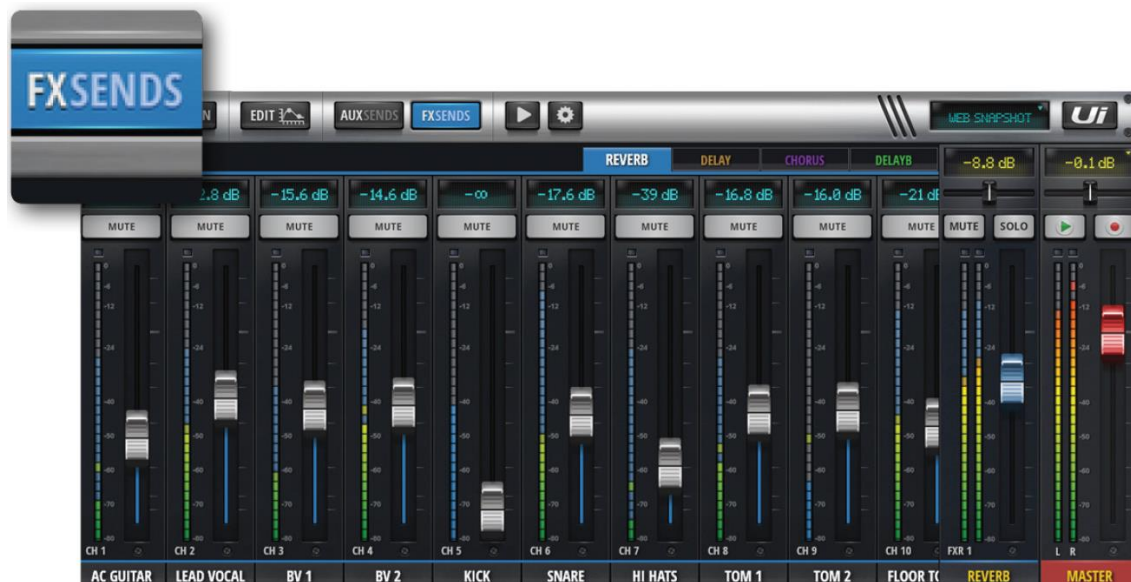
## AUX SENDS

AUX チャンネルを選択し、AUX ミックスの出力レベルをフェーダーを使用してコントロールできます。MASTER チャンネルからマスター出力レベルをコントロールできます。



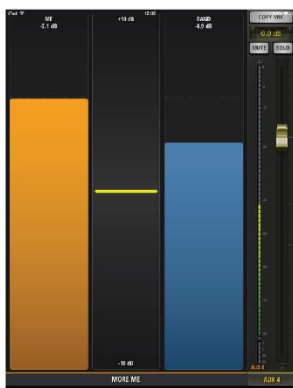
## FX SENDS

選択した FX プロセッサに送るミックスをコントロールします。コントロールしたいプロセッサタブを選択し、フェーダーを使用して入力チャンネルに付加したいエフェクト量を調整します。EDIT を選択し、FX アルゴリズムを編集します。



## MOREME

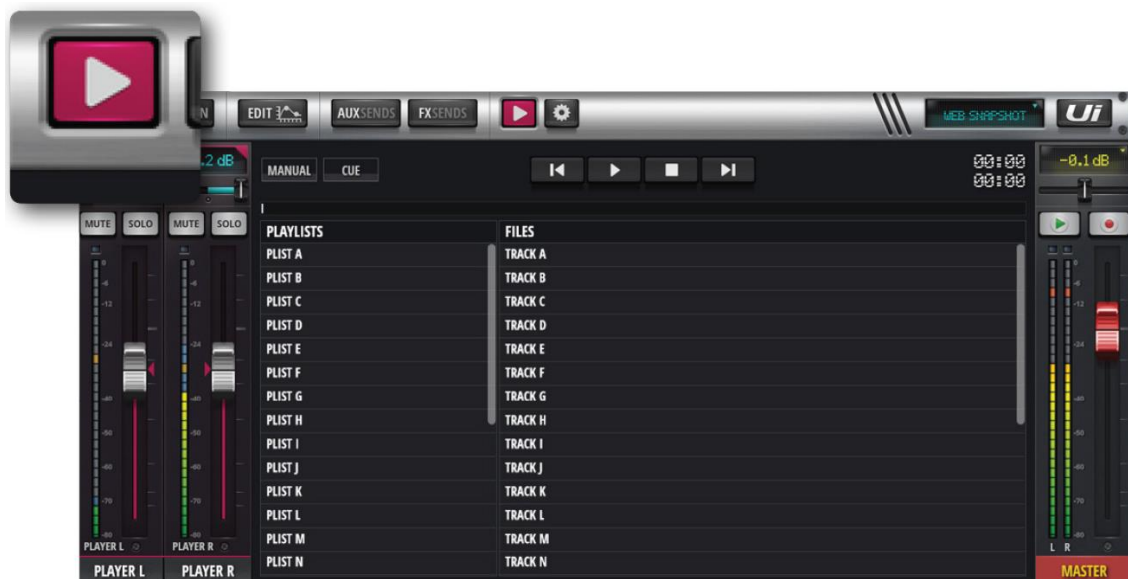
ユーザーが選択したチャンネルを割り当ててフェーダーを使用したユーザー定義のモニタリング・ミックスを作ります。入力チャンネルを MOREME に割り当てるには、チャンネル名を長押しして、ASSIGN ME を選択します。同様に AUX の場合は ME OUT を選択します。タブレットの場合は、スライドパネルから MOREME を選択するか、画面を縦向きにして MOREME 画面にアクセスします。





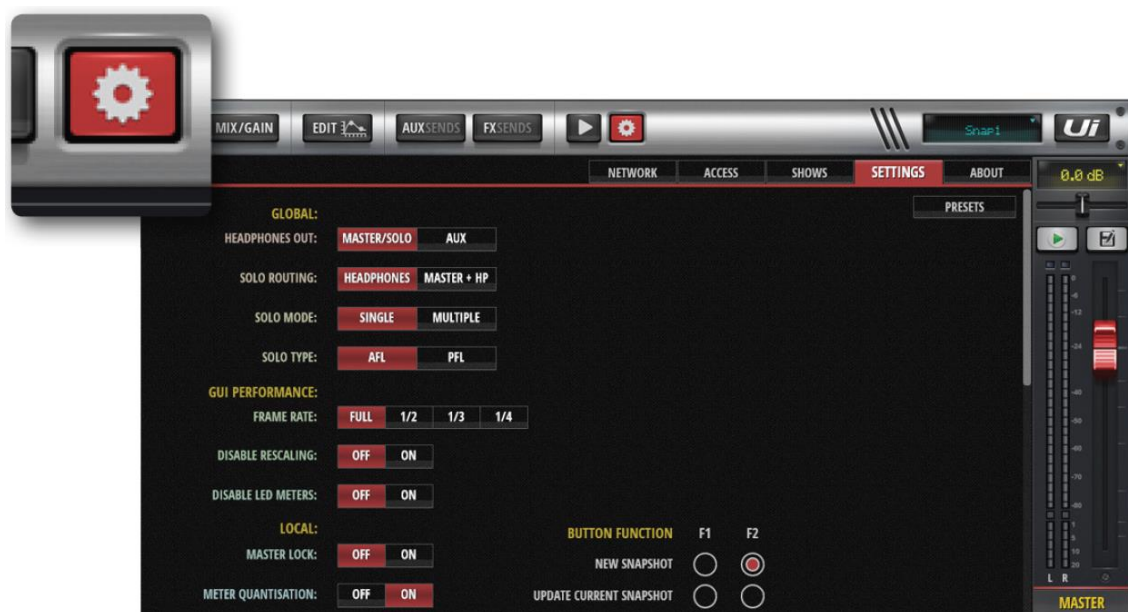
## MEDIA

本製品にはメディア・プレーヤーが搭載されていて、バックトラックやバックグラウンドミュージックを使用したミックスを作ることができます。音楽ファイルは USB メモリーから読み込みます。MEDIA ボタンを押し、プレーヤー・ページにアクセスします。ファイルはプレイリストやファイルリストから再生します。PLAYER というチャンネル名を長押ししてチャンネルメニューを表示します。



## SETTINGS

システム、ネットワーク、セキュリティ、ショー、スナップショットの設定を行うことができます。





## スマートフォン操作画面

### MIX

スマートフォンモードの初期画面は MIX 画面です。この画面から他の画面に切り替えて様々は機能を使用することができます。



#### NAV

メインメニューにアクセスします。



#### リターン

MIX 画面に戻ります。

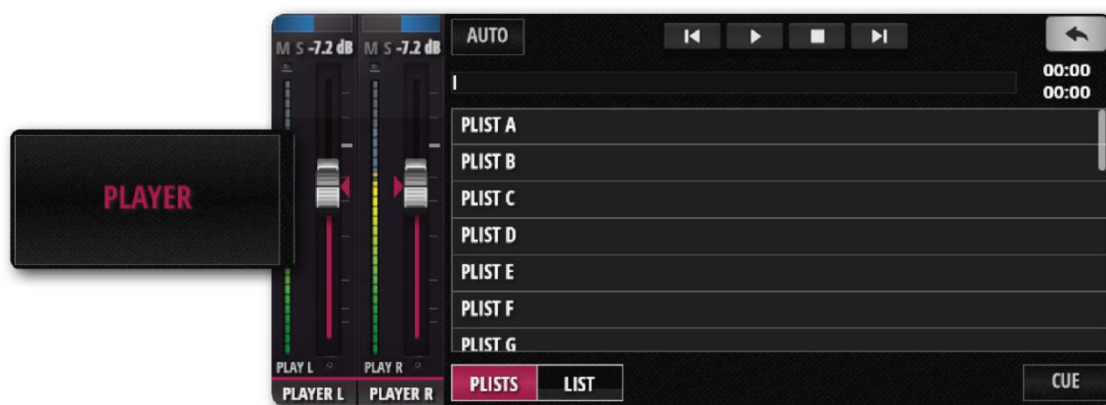


#### SHOWS/SNAPSHOTS

ショー/スナップショット読み込み/保存画面にアクセスします。

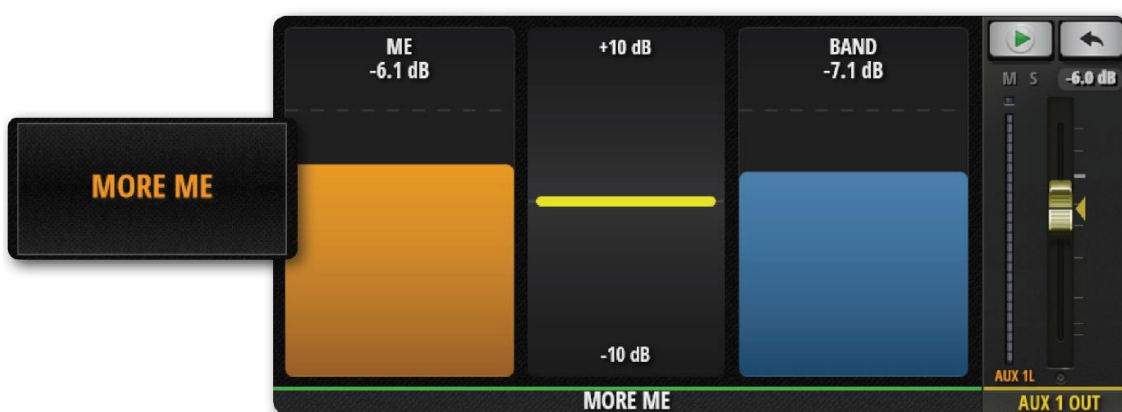
## PLAYER

本製品にはメディア・プレーヤーが搭載されていて、バックトラックやバックグラウンドミュージックを使用したミックスを作ることができます。音楽ファイルは USB メモリーから読み込みます。MEDIA ボタンを押し、プレーヤー・ページにアクセスします。ファイルはプレイリストやファイルリストから再生します。PLAYER というチャンネル名を長押ししてチャンネルメニューを表示します。



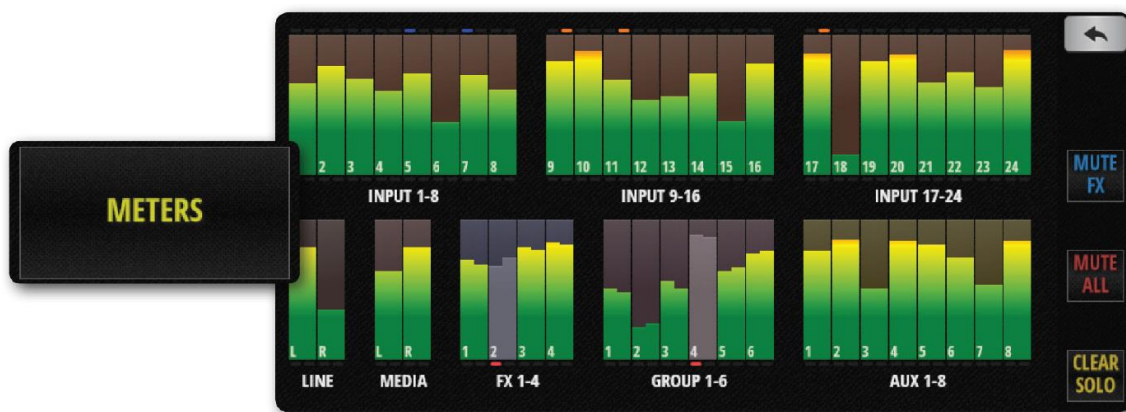
## MOREME

ユーザーが選択したチャンネルを割り当ててフェーダーを使用したユーザー定義のモニタリング・ミックスを作ります。入力チャンネルを MOREME に割り当てるには、チャンネル名を長押しして、ASSIGN ME を選択します。同様に AUX の場合は ME OUT を選択します。



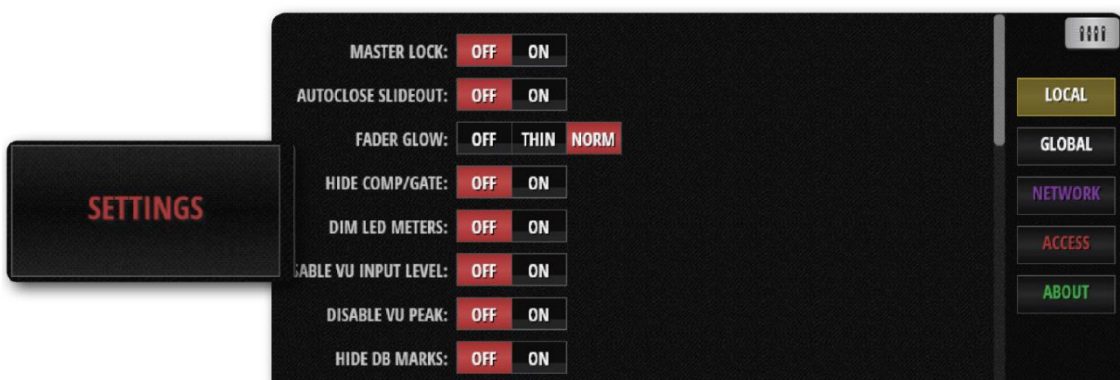
## METERS

VU メーター、ファンタム電源 ON/OFF LED、フェイス、クリップ、ミュート、ソロを表示します。チャンネルのメーターを押すと、MIX ページのチャンネル・フェーダーを表示します。さらに、CLEAR SOLOS、MUTE FX、MUTE ALL ボタンにアクセスできます。



## SETTINGS

LOCAL、GLOBAL (システム設定、オプション選択、画面設定)、NETWORK (WiFi とパスワード)、ACCESS (ユーザー設定)、ABOUT (バージョン) ボタンにアクセスできます。



## AUX SENDS

AUX チャンネルを選択し、AUX ミックスの出力レベルをフェーダーを使用してコントロールできます。画面右のリストから AUX ミックスを選択します。



## GAIN

GAIN 画面からゲイン、フェース反転、ファンタム電源 ON/OFF をコントロールできます。



## SHOWS

ショーとスナップショットの読み込み/保存を行います。ショーはスナップショットから構成されます。スナップショットはミキサー設定全体を保存したものです。



## FX SENDS

選択した FX プロセッサに送るミックスをコントロールします。コントロールしたいプロセッサタブを選択し、フェーダーを使用して入力チャンネルに付加したいエフェクト量を調整します。EDIT を選択し、FX アルゴリズムを編集します。



## EDIT

チャンネル名をダブルタップするか、EDIT 画面を選択しチャンネル・ダッシュボードを開きます。グラフィック EQ、DYNAMICS、FX と AUX SENDS をコントロールできます。マスターチャンネル名をダブルタップすると、マスターEDIT ページが開きます。





## ミキサーチャンネル

本製品では様々なタイプの入出力チャンネルが使用できます。メイン MIX 画面ではスクロールしながら全てのチャンネルを表示、コントロールできます。また、MIX 画面スライドパネルからチャンネルタイプとプリセットを設定することができます。



### 入力チャンネル

入力チャンネルは GAIN セクション (入力、プリアンプ、フェーズ、ファンタム電源など) と MIX セクションから構成されます。メイン・ステレオ・バスに接続、マスターチャンネルへ出力されます。さらに AUX Send バスに接続、AUX マスターチャンネルへ出力されます。出力チャンネルに関連した項目はそれぞれのソフトウェアページ、または EDIT 画面からコントロールできます。

### AUX センド / AUX マスターチャンネル

AUX 出力は本製品の右上にあります。それぞれのチャンネルマスターミックスとは別に、入力ソースからミックスを作ることができます。

一般的に、AUX 出力はミュージシャンがステージ上でステージモニターやインイアー・モニターアンプから自分のミックスを聴くのに使用されます。また、外部 FX デバイスに信号を送ることもできます。

### **サブグループ・マスターチャンネル**

シングル・フェーダーで全体をコントロールする以外に、ドラムキット・ミックスを個別にコントロールしたいとき、サブグループを使用することができます。

### **FX センド / FA リターンチャンネル**

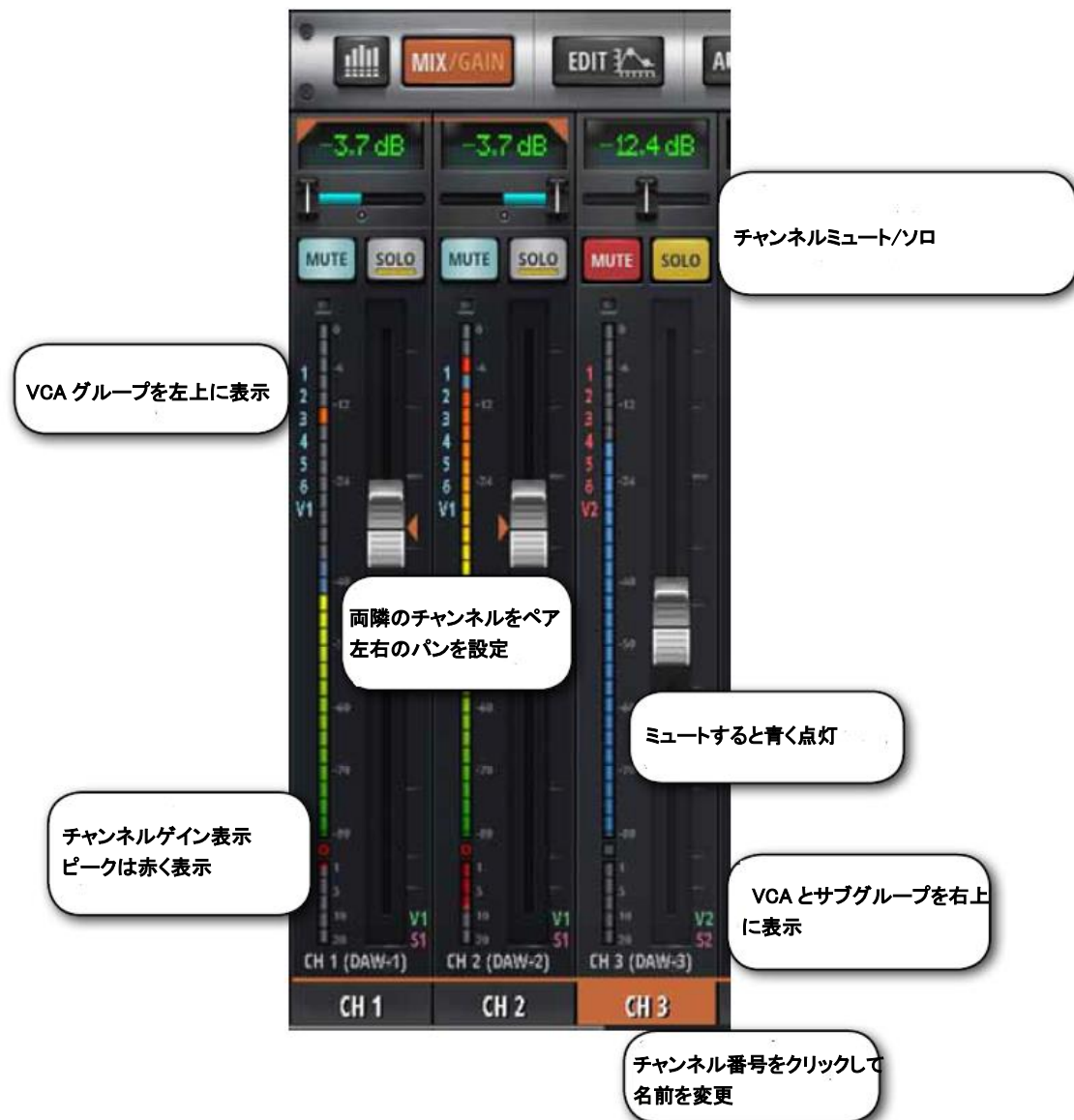
FX センド・フェーダーは入力チャンネルにかけるエフェクトをコントロールします。  
各エフェクトは FX SENDS 画面から作成できます。

### **マスターチャンネル**

メイン出力ステレオ (L/R) ミックスです。入力チャンネル、FX リターン・チャンネル・フェーダーとパン/バランスコントロールにより決めることができます。

## チャンネルストリップ

チャンネルストリップには必要な機能のほとんどがあり、指1本でコントロールできます。





## サイドパネル

ビューとミュートグループに簡単にアクセスできる操作パネルです。その他、Banks、Mieda Player、Functions にもアクセスできます。



### スリム・スライドアウト

Inputs, FX Return、  
Sub Group、AUX  
Masters、View、Mute  
Group などにアクセス



### ラージ・スライドアウト バンクモード

スマートスクロールを使用  
して操作の開始から終わ  
りまでアクセスできます



### ラージ・スライドアウト プレーヤーモード

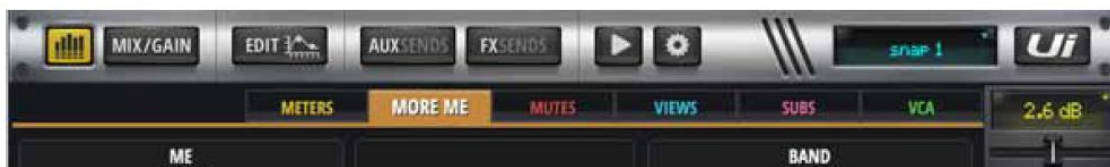
マルチトラックと2トラック  
USB プレイバック/レコー  
ディングにアクセスできま  
す



### ラージ・スライドアウト 機能モード

スナップショット保存、更  
新、前、後にスクロール

3つのフォーマット全てにおいて、ビュー、MUTE グループ、MUTE FX、タップテンポ、FX マスター、AUX マスター、VCA、マスター/サブグループにアクセスできます。MOREME はマスター画面のタブからアクセス可能です。



## 入力 : GAIN

入力チャンネルの入力ステージをコントロールすることができます。赤いフェーダーとレベルメーターを持つ帯状のパネルです。

タブレット : MIX/GAIN ボタンをタップして MIX と GAIN を切り替えます。

スマートフォン : GAIN メニューボタンを押し、GAIN ページに移動します。

### 注意

GAIN 画面と MIX 画面には共通の入力画面とパン/バランスコントロールがあります。



マイクのリモートゲイン・コントロールとリモートファンタム電源コントロール機能があります。

### ゲイン、ファンタム電源、フェーズ反転

各入力の入力ゲインは-10dB～+60dB の範囲で調整可能です。音源を繋ぐときはフェーダーを一番下まで下げることを推奨します。赤い Clip LED が頻繁に点滅する場合、信号が歪んでいる可能性があります。この場合、ゲインを下げてください。

MIX 画面から GAIN 画面に切り替えたとき、フェーダーは GAIN フェーダーに切り替わります (フェーダーノブの下は赤くなります)。タブレットでは MUTE、SOLO ボタンが+48V (ファンタム電源) と  $\Phi$  (フェーズ反転) ボタンに変わります。

スマートフォンではこれらの機能は **EDIT** ページにあります。(EDIT ページに切りかえるにはチャンネル名をダブルクリックします。)

#### 注意

チャンネルに対して **DAW** 入力を選択すると、ゲインコントロールは、**DAW** ゲインセクションから行います。



ファンタム電源はコンデンサー・マイクや DI に使用され、チャンネル毎に **ON/OFF** が可能です。状態は **METERS** 画面に表示されます。

ファンタム電源を **ON** にすると、チャンネル出力は一時的にミュートされます。これにより、スピーカーを保護することができます。



#### フェーズ反転

フェーズを反転されることにより、フィードバックを引き起こす周波数を除外したり、位相が完全に外れたり、少しズレたりした場合の対処が可能です。



**HI-Z** (CH1、CH2 のみ使用可能です。)

ギター、キーボード、ベースなどの高電圧、低電流のソースには、CH1、CH2 の **Hi-Z** 入力を使用すると効果的です。



#### INPUT DELAY

入力ディレイは **1~250ms** の範囲で変更可能です。これにより、例えば大きなステージでマイクの配置を変えることができるようになります。様々なソースからの入力信号を遅延させることで、よりまとまりのあるミックスに仕上げることができます。

**GAIN** タブに入ります。各入力フェーダーベイには、ディレイボタンがあります。押すとディレイ入力のプルダウンが表示され、選択したディレイ値を入力することができます。

ディレイ値は **ms**、**meter**、**ft**、**sample** の単位で入力します。



#### ISOLATE

チャンネルパラメーターをショーやスナップショットのリビジョンで変更されないようにロックします。これにより、スナップショットの変更によってパラメーターが上書きされるのを防ぎます。



## 入力：MIX

MIX ページはコントロールソフトウェアの初期画面です。入力チャンネルのルーティング、パンニング、フェーダーをコントロールできます。スマートフォンの場合、パンニング/バランス、ソロ、ミュートを MIX 画面に表示します。ただし、コントロールは EDIT ページを使用してください。

タブレット：MIX/GAIN ボタンをタップして MIX と GAIN を切り替えます。

スマートフォン：RETURN ボタンを押すと MIX ページに移動します。

GAIN チャンネル（フェーダーキャップ以外）をダブルタップすると MIX ページに戻ります。

チャンネル名をダブルタップするとそのチャンネルの EDIT ページに移動します。





### FADER

マスターステレオミックスに送られるチャンネルレベルを調整します。



### メーター

入力レベルとボリュームレベルを表示する VU メーターです。青メーターは入力ゲイン、黄色メーターはボリュームレベルを表しています。

注意：EQ&DYN 設定はボリュームメーターに影響します。



### MUTE

メインステレオバスに対するチャンネル出力をミュートします。AUX の PRE、POST の設定によって AUX 出力もミュートすることができます。



### SOLO

使用しない設定になっているときはグレー、使用可能のときは黄色になっています。特定のチャンネルだけを聴きたいときに SOLO ボタンを押します。SETTINGS を使用して SOLO チャンネルをヘッドホン、またはヘッドホン+マスター出力に切りかえて送ることができます。2 つの SOLO モードが選択できます。

SOLO1：選択済みの SOLO チャンネルを再度選ぶとキャンセルされます。

SOLO+：選択済みの SOLO チャンネルを再度選んでもキャンセルされずに残ります。

注意

AUX オプションが HEADPHONES OUT に設定されていた場合、SOLO の設定に影響されず、常時ヘッドホンに出力されます。

SOLO 出力は初期設定では PFL (プリフェーダー) に設定されています。ただし、GLOBAL SETTINGS の SOLO TYPE を設定して AFL (アフターフェーダー) に変更することもできます。



### パン/バランス

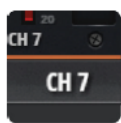
モノラル・チャンネルではパン・コントロール（青色）として働きます。ステレオ・チャンネルではバランス・コントロール（黄色）として働きます。



### チャンネル・ディスプレイ

フェーダー・レベルを dB 表示します。また、パン・スライダーを動かすと、3 秒間だけパンポジションを表示します。





## チャンネル名

チャンネル名をタップするとそのチャンネルを選択できます。ダブルタップすると EDIT 画面が開きます。長押しするとサブメニューが開きます。

## 入力：サブメニュー

チャンネル名を長押しするとサブメニューが開き、様々なチャンネルパラメーターにアクセスできます。



### CHANNEL PRESETS

チャンネル設定（ファクトリー / ユーザープリセット）全体を呼び出し、保存します。

### RENAME

チャンネル名を変更します。

### COPY SETTINGS / PASTE SETTINGS

設定をコピーしてから他のチャンネルのサブメニューを開くとペーストメニューが現れ、設定を別のチャンネルにペーストできます。

## ASSIGN SUB GROUP

チャンネルをサブグループに割り当てます。例えば「Drum Kit」サブグループに選択中のチャンネルを割り当てます。一度割り当てるとメニューは UNASSIGN SUBGROUP に変わります。

## ASSIGN VCA

VCA Groups は、1 つの VCA Master から複数の入力チャンネルをコントロールすることができます。例えば、ドラムキット全体を 1 つの VCA マスターでコントロールしたり、ギターキャビネットに複数のマイクを設置する場合、個々のチャンネルでレシオを設定し、ギター VCA マスターを作成することができます。Ui24R は、METERS サブメニューまたは各チャンネルサブメニューから VCA をアサインすることができます。



## メンバーチャンネルを追加・削除する方法

VCA チャンネルは、指定されたチャンネルを長押しすることでアクセスできるポップメニューから割り当てられます。すべての変更は、このメニューから行うことができます。

## チャンネルストリップの VCA インジケーター

LCD パネルのチャンネル・カラー・インジケーターは、そのチャンネルで VCA が作動していると緑色になります。また、チャンネルストリップは、どの VCA が作動しているかによって、V1~6 が緑色で表示されます。

## VCA ミュート

VCA マスターにミュートをかけると、すべてのメンバーチャンネルもミュートされます。



## STEREO LINK

2つのモノラル・チャンネルからステレオ・チャンネルを作ります。偶数/奇数（L/R）チャンネルがリンクされます。チャンネル 2（右）をリンクすると、チャンネル 1（左）とステレオチャンネルが作られます。

## RESET CHANNEL

チャンネル設定を初期設定に戻します。

## VCA SPILL

VCA チャンネルストリップの **Spill** タブをクリックすると、そのチャンネルの VCA 全体を展開することができます。



## MATRIX

マトリックスは、ミキサーの中のミキサーと表現するのが最も適切です。最も単純な形として、マトリックスは、選択した楽曲の入力（通常、グループおよびメイン出力バスから得られる）、およびこれらの信号のルーティングを可能にし、レベルコントロール付きで、出力に接続します。

マトリックスシステムは、外部ソースを含む様々な入力から構成でき、EQ、圧縮、ノイズゲート、ディレイ/リバーブなどの信号処理も可能です。



## MATRIX 構成

マトリックス構成は、以下から行えます：

AUX センド

サブグループ

マスターL/R（プリ/ポストフェーダー可）

### 注意

AUX 1/2 または Matrix 1/2 に自動的に割り当てられる XLR 出力 1/2 は、クロスオーバーとして使用可能な HPF および LPF フィルターを備えています。

## METERS

メーターページには、ミュート、ソロ、ファンタム 48V 電源、フェーズリバーブなどのインジケータとともに、すべてのアクティブなチャンネルの値が表示されます。ユーザーは、任意のチャンネルのメーターをクリックすることで、そのチャンネルに直接移動することができます。また、入力チャンネルをダブルクリックすると、「メーター」ページに戻ることができます。



## AUX SEND

AUX 出力は本製品の右上にあります。それぞれのチャンネルマスターミックスとは別に、入力ソースからミックスを作ることができます。

一般的に、AUX 出力はミュージシャンがステージ上でステージモニターやインイアー・モニターアンプから自分のミックスを聴くのに使用されます。また、外部 FX デバイスに信号を送ることもできます。



AUX SEND 画面では、モニター出力や外部 FX センド用に AUX ミックスを作ることができます。本製品には専用の出力端子が搭載されています。AUX フェーダーはオレンジ色のレベルメーターを持ち、AUX バスへの出力レベルを表します。Ui12 は 4 つの AUX バス、Ui16 は 6 つの AUX バスを搭載しています。SETTINGS の中で、HEADPHONES OUT オプションが AUX に設定されていた場合、Ui12 は 3/4 チャンネル、Ui16 は 5/6 チャンネルが AUX 出力端子へ出力されます。AUX バスに接続されている全てのチャンネルを表示するには、チャンネルの EDIT ページから AUX SENDS 画面を選びます。

AUX1～AUX8 のミックスを作るには **AUX** タブを選択し、チャンネルボリュームを調整します。画面右の **AUX SEND** フェーダーは **AUX** ミックスのボリュームを調整する **AUX** マスター・チャンネル・フェーダーです。

**AUX** マスター・チャンネル・フェーダーは **AUX MASTERS** ボタン（タブレット）、または **JUMP TO** オプション（スマートフォン）を使用して表示することができます。また、**MIX** ページチャンネルの右端をスクロールして見ることもできます。

## STEREO AUX

ステレオリンク・チャンネルは入力チャンネルと **AUX MASTERS** 両方で作ることができます。ステレオリンク AUX を作るには、**AUX** マスターチャンネル・サブメニュー（チャンネル名を長押し）を使用します。

チャンネル名を長押ししてチャンネル・ポップアップ・メニューに移動し、ステレオリンクにアクセスします。2 つのモノラル入力チャンネルがメイン **MIX** ページでステレオリンクされたとき、**AUX SENDS** ページでも同じチャンネルがステレオリンクされます。（2 チャンネルは dB 表示の上に緑色のラインにより左右に振ることができます）。

## FX ON AUX

**AUX** ミックスに **FX** を付加することができます。チャンネルリストを最後までスクロールすると **RX RETURN** フェーダーが現れます。チャンネルに割り当てる **FX** 全てを **AUX** 用にコントロールできるわけではありません。**AUX** に **FX** を付加するときは、メインミックスから **FX** 信号全体が付加されます。



### M-AUX / COPY MIX

メインミックスを **AUX** ミックスにコピーします。



**MIX** ページからフェーダーポジションをコピーし、**AUX SENDS** ページのフェーダーを同じ位置に動かします。これにより **AUX** ミックスを調整するとき、全フェーダーが下に降りた状態より調整が始めやすくなります。もし、ミックスフェーダーポジションをメインミックスに反映させたいときはいつでもこのボタンを押します。安全のため、確認メッセージが表示されます。



### PRE/POST（タブレットのみ）

入力チャンネルを **AUX** に繋ぐとき、プリ・フェーダー/ポスト・フェーダーの切りかえを行います。初期設定ではプリ・フェーダーが選択されています。**MIX** ページのフェーダーは **AUX** レベルに影響しません。ポスト・フェーダーに切りかえるときは、**PRE** ボタンを押します。**PRE/POST** ボタンを長押しすると **ALL CHANNELS TO PRE/POST** 画面が開きます。



### AUX SEND MUTE（タブレット）

**AUX** ミックスに接続された入力チャンネルのみをミュートします。

## PRE/POST PROCESSING



Aux ミックスに送信するチャンネルのプリ/ポストプロセッシングを選択可能です。

## CHANNELS > AUX POP MENU



## CHANNEL PRESETS

AUX チャンネル設定全体の呼び出しと保存 - ファクトリープリセットバンクとユーザープリセットバンク

### RENAME

AUX チャンネルの名前を変更します。新しい名前は、「AUX 名」フィールドに表示されます。

### COPY / PASTE SETTINGS

AUX チャンネルの設定をペーストボードにコピーします。他の AUX チャンネルのサブメニューを選択すると、「PASTE SETTINGS」オプションが表示されます。これを使用して、コピーした設定をその AUX チャンネルに貼り付けます

### STEREO LINK

2 つの AUX チャンネルを Stereo でリンクします。左右のチャンネルは、自動的に左右に分けられます。

## RESET CHANNEL

チャンネルを初期設定に戻す

## SWITCH TO MATRIX

選択した AUX チャンネルをマトリックスモードに切り替えます。

出力に貢献する AUX モードチャンネル > ラインイン、プレーヤー、FX マスターを含むすべての入力チャンネル

マトリックスモード>AUX、サブグループ、マスター左右

## ASSIGN MY OUT

AUX チャンネルは、チャンネルポップメニューからパーソナルモニターまたは「MY OUT」として割り当てることができます。「MY OUT」は 1 ユーザーにつき 1 つしか割り当てられませんが、ユーザーごとに異なる AUX チャンネルを「MY OUT」として設定することが可能です。「MY OUT」は、インイヤーモニターに最適なステレオ・リンク・チャンネルにも対応します。

CHANNELS > AUX SENDS



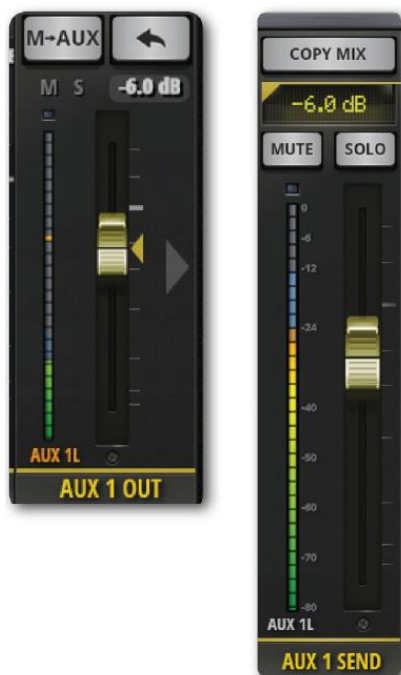
## AUX SENDS

チャンネル編集モードのとき、AUX センドタブを選ぶと、選択したチャンネルの AUX センドをすべての AUX に表示し、チャンネルベースの代替としての AUX ビューを作成します。



## AUX MASTER

AUX マスターチャンネルは AUX バスの出力チャンネルになります。つまり、入力チャンネルから構成した AUX1 ミックスは AUX1 出力端子に送られる前に AUX1 マスターチャンネルを通ります。Ui12 には 4 つの AUX バスが、Ui16 には 6 つの AUX バスがそれぞれ使用可能です。SETTINGS の中で、HEADPHONES OUT オプションが AUX に設定されていた場合、Ui12 は 3/4 チャンネル、Ui16 は 5/6 チャンネルが AUX 出力端子へ出力されます。



AUX マスターチャンネルは EDIT チャンネルを持っています。パラメトリック EQ ではなく GEQ (グラフィック EQ) と dbxAFS2 ハウリング・サプレッサーを搭載しています。AUX マスター・チャンネルは AUX MASTERS ボタン (タブレット)、または JUMP TO オプション (スマートフォン) を使用して表示することができます。

## FX SENDS

FX SENDS フェーダーにより各入力チャンネルのエフェクト（ディレイ、リバーブ、コーラス）の量を効率良く決めることができます。AUX センドと同じように動作します。接続された入力のミックスは各 FX プロセッサに 1 つ FX SENDS ページに作られます。プロセッシングの後、ミックスは元の FX リターンチャンネルを通して戻ります。ちょうどマスターステレオ・ミックスにおいて、プロセッサ・ミックスの全体のレベルを調整する入力チャンネルと同じように働きます。選択された FX プロセッサに対する FX リターンチャンネルはマスターチャンネルの隣にある FX SENDS 画面に表示されます。



FX リターン・チャンネルは FX RETURNS (タブレット) を選択し、メイン MIX 画面をスクロール、または JUMP TO オプション (スマートフォン) を使用して表示することができます。

チャンネルの EDIT ページと AUX SENDS 画面を選択して各チャンネルの全ての FX 接続を見ることができます。

FX SENDS ページから、最初にどのエフェクトを調整したいかを選択します。グレーフェーダーにより、選択した FX プロセッサに対してチャンネルの信号を増減します。FXR1 REVERB という青い FX RETURN を調整し、ミックスのトータル REVERB 量を調整します。

入力チャンネル FX センドは FX SENDS ページ内で個々にミュートすることができます。

## 注意

FX センドはポストフェーダーになっています。つまり、各入力レベルを変更すると FX プロセッサに送るレベルも変わります。各入力チャンネルとメインミックスのレベルは比例関係にあり、さらに FX センドのレベルも同様に比例関係にあります。

## サブグループ・マスターチャンネル

個々の、または全体のドラムキットミックスをコントロールする場合、サブグループを使用すると便利です。

入力チャンネルサブメニュー、または DASHBOARD/METERS ページの SUBS 画面から入力チャンネルをサブグループに割り当てます。さらにサブグループは、メインチャンネル・フェーダーの位置に従って、シングル・ステレオ・チャンネルにミックスされます。



サブグループ・マスターチャンネルには入力チャンネル毎に EDIT 機能があります。



## ASSIGN SUB GROUPS

サブグループは、METERS>SUBS で割り当てられます。

## VIEW & MUTE GROUPS

Ui24R のユーザーには、6 つの View グループと 6 つの Mute グループが用意されています。これらは Ui24R のサイドバーからアクセスすることができます。ユーザーは、この画面でグループの名前、グループ番号、グループの要素を設定することができます。



## MUTE GROUPS



## マスターチャンネル

マスター・ステレオ・チャンネルはメインステレオ（L&R）ミックスの出力チャンネルです。入力チャンネル、FX リターン、パン/バランスコントロールによりレベル調整できます。マスターチャンネルには他のチャンネル同様、EDIT ページタブがあります。AUX マスターを含む出力チャンネルの EQ は、パラメトリック EQ（入力チャンネルとサブグループマスター）ではなくグラフィック EQ（GEQ）です。

マスターフェーダー（赤いフェーダーノブ）はミキサー全体の出力ボリュームをコントロールします。フェーダーによりセットしたレベルはフェーダー上に dB で表示されます。



### ディスプレイ&インジケーター

dB 以外にも 3 つの便利なインジケーターがあります。

#### CLIP (C)

入力のどれかにクリップが起こった場合点灯します。

#### MUTE (M)

いずれかのチャンネルがミュートされたとき点灯します。

#### SOLO (S)

いずれかのチャンネルが SOLO モードになったとき点灯します。

### バランスコントロール（タブレットのみ）

水平フェーダーにより左右のボリュームを調整します。ただし左右のミックスには影響しません。ダブルタップにより左右のバランスは中央に戻ります。スマートフォンによりバランスコントロールするにはマスターチャンネル名をダブルタップして EDIT ページを開きます。

### F1&F2 ボタン（タブレットのみ）

F1 と F2 は様々な機能が割り当て可能なボタンです。上図では▶（再生）、●（録音）に設定されています。SETTINGS から CONFIGURATION を開き、スナップショット、スナップショット更新、再生、録音（Ui12（最新のソフトウェア）と Ui16）

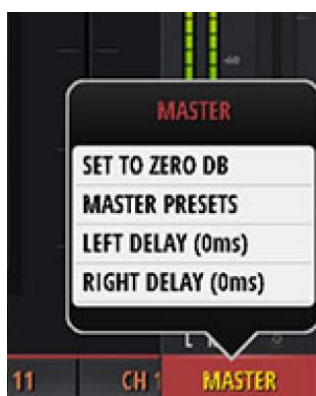
録音ボタンを押すと USB メモリーに直接録音することができます。録音ボタンは赤に変わります。

## DIM

DIM ボタンにより、出力レベルを 20dB 下げる（DIM する）ことができます、これは、一般的にスタジオでモニターするときに使用されます

## マスター：サブメニュー

マスターチャンネル名を長押しすると、マスターサブメニューが現れ、「Set To Zero」とマスターチャンネルプリセットマネージャーにアクセスできます。



### SET TO ZERO DB

チャンネル・フェーダーレベルを素早くゼロに戻すことができます。MASTER をダブルタップして SET TO ZERO DB をタッチしてください。

### MASTER PRESETS

マスターチャンネル・セットアップをプリセットとして保存します。最終ステージ向けセットアップ・ライブラリーを保存することができます。

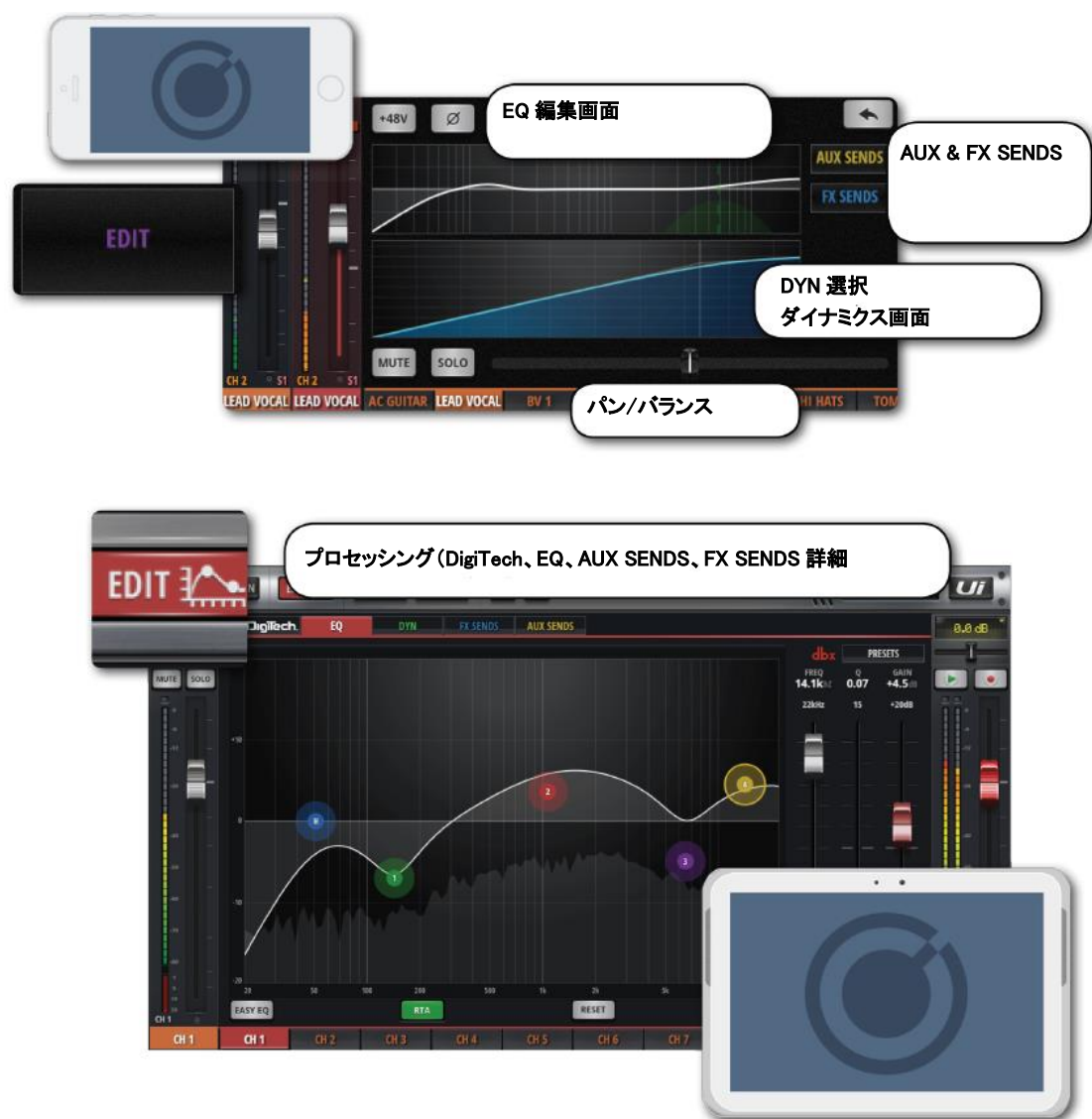
### LEFT DELAY/RIGHT DELAY

左右の出力チャンネルにディレイを設定することで、スピーカーの配置がバラバラだったり、部屋の形が変だったりしても大丈夫です。MASTER チャンネル名をクリックしたまま、Left または Right Delay を選択し、入力プルダウンに値を入力し、OK をクリックします。



## チャンネル EDIT

EDIT ページから各チャンネルの EQ、ダイナミクス、FX、AUX センドなどのシグナルプロセッシングを行うことができます。プロセッシングの種類とオプションはチャンネルタイプによって異なります。選択したチャンネルは EDIT 画面の左側に表示されます。スマートフォンの場合、EDIT の初期画面から詳細な設定画面を開くことができます。さらに基本的なチャンネルパラメーター（パン/バランス、フェーズ、ファンタム電源他）にアクセスできます。



### EDIT ページアクセス

EDIT ページは、EQ (タブタブレット)、EDIT メニュー (スマートフォン) からアクセスできます。

## 他のアクセス方法

- チャンネル・フェーダーつまみをダブルタップして EDIT モードから EQ タブをタップ
- チャンネルタイプ INPUT、LINE IN、PLAYER、SUB GROUP、AUX のチャンネルラベルをダブルタップして EDIT モードから DYN タブをタップ
- チャンネルタイプ FX RETURN のチャンネルラベルをダブルタップして EDIT モードから FX タブをタップ

## DigiTech

DigiTech 入力プロセッシングとチャンネルビューは最初の 2 チャンネルのみアクセスできます。アコースティックギターなど、DI ギターピックアップなどを繋ぐための Hi-Z チャンネルを含みます。また、パラメーター設定可能なギターアンプとキャビネットのエミュレーションが可能です。さらに全入力端子を 1 画面で見ることができます。



### AMP 選択

ギターアンプモデルを選択します。画面のギターアンプをタップすると様々な種類のギターアンプがポップアップメニューに表示されます。



### キャビネット選択

ギター・スピーカー・キャビネット・モデルを選択します。画面のキャビネットをタップすると様々な種類のキャビネットがポップアップメニューに表示されます。





#### Hi-Z ON/OFF

Hi-Z 入力を ON/OFF します。アコースティックギターの DI 出力などを繋ぎます。



#### Digitech ON/OFF

Digitech プロセッシングを ON/OFF します。Digitech プロセッシングを OFF にすると、チャンネルはスタンダード入力設定に戻ります。



#### PRESETS

プリセット管理をポップアップします。Digitech プロセッシングをプリセットとして保存、呼び出しができます。



#### AMP コントロール

アンプモデル (GAIN、LEVEL、BASS、MID、TREBLE) の詳細設定を行います。アンプモデルをオーバードライブするには GAIN コントロールを使用します。



#### 入力端子コントロール

全入力端子 (FX、High Pass フィルター、Notch フィルター、コンプレッサー、ゲート) を 1 画面に表示できます。

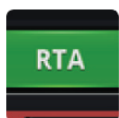
## パラメトリック EQ

EQ は特定した周波数の信号の大きさを制御する機能です。入力チャンネル、FX リターンチャンネル、サブ・グループ・マスターチャンネルは同じ画面から 4 バンド・パラメトリック EQ、ハイパスフィルター、ディエッサーをコントロールすることができます。RTA（リアルタイム・アナライザー）が搭載され、入力信号をグラフ化して見ることができます。さらに、EQ は Easy EQ（3 バンド、周波数、Q 幅）にスイッチすることができます。



### EASY EQ ON/OFF

EASY EQ は 3 バンド、周波数、Q 幅モードをベルカーブ、または Lo/High シェルビングを使用して調整する機能です。EASY EQ を OFF にするとパラメトリック EQ 内にデーターは保存されます。ただし、次に EASY EQ を ON にするとデーターは消去されます。パラメトリック EQ 設定値は EASY EQ フォーマットにマップされません。



### RTA（リアルタイムアナライザー）

RTA を使用して入力信号のスペクトルをリアルタイムに見ることができます。EQ バンドを使用して信号の特性波形を素早く見るのに便利です。RTA は一度に 1 チャンネルでのみ有効にすることができます。あるチャンネルを有効にすると、他のチャンネルの有効な RTA は無効になる。



#### ED-ESSER（ディエッサー）ON/OFF

ディエッサーを ON/OFF します。オフの場合、ディエッサーボールはドラッグできません。



#### RESET

EQ の設定値を初期化します。EQ はフラットになり、周波数と Q 幅は初期値に戻ります。



#### BYPASS

チャンネルプロセッシングの中で、パラメトリック EQ のみバイパスします。ハイパスフィルター、ディエッサーは影響ありません。



#### EQ / DE-ESSER フェーダーコントロール

フェーダーがコントロールする機能として EQ、またはディエッサーを選択します。3 つのコントロールフェーダーにそれぞれ EQ、ディエッサーを割り当てます。EQ を選択すると現在選択されているバンドの値が表示されます。



#### DS-DE-ESSER ボール

ディエッサーをコントロールするためのボールです。このボールをドラッグしてコントロールします。上下に動かすとスレッシュホールド、左右は周波数を調整します。EQ ボールをピンチして Q 幅を調整します。ダブルタップして個々のバンドをリセットします。



#### 1/2/3/4 - EQ バンドボール

EQ バンドをコントロールするボールです。ドラッグして GAIN（上下）、周波数（左右）を調整します。ピンチにより Q 幅、ダブルタップして個々のバンド設定をリセットします。



#### H-ハイパスフィルター・ボール

ハイパスフィルターをコントロールするためのボールです。左右にドラッグしてカットオフ周波数を変更、ダブルタップして値をリセットします。

## HPF/LPF SLOPE CONTROL



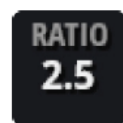
Ui24R ユーザーにはハイパスとローパスのフィルタリングが用意されていて、Parametric EQ からアクセスできます。

ハイパスは高い周波数のみを、ローパスは低い周波数のみを通過させることを意味します。この2つのフィルターをパラメトリック EQ で使用することで、ユーザーは特定の PA 設定に合わせてサウンドを調整することができます。



### ディエッサー・スレッシュホルド

ディエッサー・スレッシュホルド（歯擦音を減衰させる点）をコントロールします。



### ディエッサー減衰比

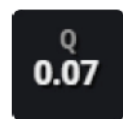
歯擦音を減衰させる量を調整します。スマートフォンの場合、DE-ESSER SETUP ボタンをタップします。



### ディエッサー周波数

ディエッサー周波数をコントロールします。ディエッサー・ダイナミック・フィルターのセンター周波数を決めます。

スマートフォンの場合、DE-ESSER SETUP ボタンをタップします。



### EQ Q（タブレットのみ）

Q は EQ バンド（ベルシェイプ）の高さと幅を表します。

Q 値を小さくするとバンド幅が広がります。逆に大きくすると狭くなります。ダブルタップして値をリセットします。





#### EQ GAIN (タブレットのみ)

EQ ゲインをコントロールします。選択した EQ を増加、または減衰します。ダブルタップして値をリセットします。



#### EQ 周波数 (タブレットのみ)

EQ バンド周波数をコントロールします。



## グラフィック EQ

入力チャンネルがパラメトリック EQ を搭載しているのに対して、AUX センド・マスターとステレオ・マスター・チャンネルはグラフィック EQ (GEQ) を搭載しています。ブースト/減衰できる 31 の固定周波数バンドがあり、16 はバンクから選択、15 はミニ GEQ グラフから選択します。さらに、GEQ 画面から dbx2 (自動ハウリング・サプレッサー) にアクセスできます。また、RTA (リアルタイム・アナライザー) を搭載していて、入力信号のスペクトルを表示します。





### HPF/LPF

マスター出力と Aux/マトリックス出力 1/2

HPF と LPF をドラッグしてクロスオーバーポイントやフィルターを設定することができます。



### RTA (リアルタイム・アナライザー)

RTA は入力信号をリアルタイムに表示する機能です。EQ バンドの特定の周波数特性を見るのに便利です。



### RESET

GEQ をリセットして EQ をフラットにします。



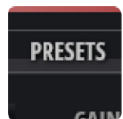
### BYPASS

GEQ をバイパスします。



### dbx AFS2 SETUP (タブレットのみ)

ハウリング・サプレッサーをセットアップします。



### PRESETS

GEQ プリセットを保管/呼び戻しすることができます。

## SCROLLING SCREEN

ユーザーインターフェイスがグラフィック EQ の全機能に対応できない場合。パラメーターをスクロールすることでアクセスでき、全帯域の周波数を使用することができます。

### HPF、LPF

AUX/Matric1、2、Master out のグラフィック EQ で、クロスオーバー周波数を設定することができます。Aux/Master チャンネル。

## AFS2

AFS2 は dbx ハウリング・サプレッサーです。オーディオ・スペクトラム全域からハウリングを検知し削除する 12 種類のインテリジェント・フィルターを搭載しています。Edit 画面と EQ タブを使用してマスターステレオ出力と AUX バスマスターチャンネルに AFS2 をセットアップすることができます。



AFS2 は 2 つのモードで動作します。

### 固定モード

ハウリングが起こらない最大ヘッドルームを確保するため、演奏前にフィルターを調整します。

### ライブモード

演奏中にフィルターを自動調整します。

ライブフィルターは固定フィルターより適応能力が高く、複雑な音響システムにも対応できます。これにより演奏中の条件変更にも柔軟に対応し、システムをハウリングから守ります。また、必要がない場合、フィードバックから外して音の忠実性を高め、他のシステムで使用できるように解放します。

一般的に、演奏前に固定モードを使用してセットアップし、ライブのときにライブモードに切りかえて使用します。

## 音出し

固定フィルターは演奏前の音出しのときに全ての **EQ** を効かせた状態でセットアップします。ライブ前に音出しをして固定フィルターを設定することにより、ハウリングが起こるまでのポイントに余裕を持たせることができ、安心してライブに使用することができます。



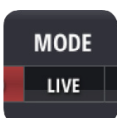
### dbx AFS2 SETUP

ハウリング・サプレッサーをセットアップします。



### CLEAR FIXED

AFS2 フィルターをクリアして新しいフィルターをセットアップします。



### AFS2 MODE

**LIVE**（ライブ）、**FIXED**（固定）、**LOCK**（ロック）のモードから1つを選択します。ライブモードは演奏中に、固定モードは音出しのときに使用し、ロックにより不用意なモード変更を防止します。



### SENSITIVITY

AFS2 のハウリング検知レベルを調整します。「高」に設定すると、ハウリングを素早く検知してすぐにフィードバックをかけます。「低」に設定すると、感度を落としてフェードバックを遅らせます。



### BYPASS

AFS2 をバイパスします。固定フィルターをセットアップするときは常に AFS2 をバイパスします。



## 固定モードのとき AFS2 をマニュアルでセットアップ

1. **CLEAR FILTERS** ボタンを押し、フィルターをクリアします。さらに **BYPASS** ボタンを押して AFS2 をバイパスします。
2. サウンドチェックを行い、演奏に使用する全てのマイクを使用して簡単にミックスを作ります。音出しする **AUX** マスター、またはステレオマスターのフェーダーポジションを記録します。**TARGET GAIN** は 5dB 辺りに設定します。
3. 内部 **FX** プロセッサーや使用するマイクにノイズゲートを使用している場合、音出しの前に全てバイパスしてください。音出しが終了したらノイズゲートを元に戻してください。
4. 演奏が終了したらマスターバスフェーダーを下げてください。  
注意  
固定モードで音出しを行っているとき、AFS2 により検知されたサウンドは、セットされた固定フィルターによりトリガーされます。使用する全てのマイクがアクティブになっていて検知できる音は何もない状態にしておく必要があります。
5. **FILTER MODE** を **FIXED** (固定) にセットするときは音を出さないでください。
6. AFS2 のバイパスを解除し、マスターフェーダーを欲しいゲインまでゆっくり上げてください。このとき固定フィルターが働いていないことを確認してください。
7. マスターバス・フェーダーを通常レベルまで戻してください。
8. **FILTER MODE** を **LIVE** (ライブ) にセットしてください。システムはライブモードになり、演奏中にハウリング・サプレッサーが動作するようになります。

AFS2 専用のプリセットマネージャーを搭載し、接続した USB メディアに AFS2 プリセットをロード/セーブ/リネーム/デリートすることができます。

AFS2 PRESETS をロード／セーブ／リネーム／デリート：

- AUX または **MASTER EQ** の編集ページに移動します。
- **AFS2 SETUP** ボタンをクリック／タップします。
- AFS2 フィルター表示プルダウン内の **PRESETS** ボタンをクリック／タップします。
- **PRESETS** マネージャーを使用して、AFS2 プリセットを接続した USB メディアにロード/セーブ/リネーム/デリートすることができる

## CHANNEL EDIT > GATE

Ui24R の Gate セクションは、上部ツールバーの Edit タブからアクセス可能です。Gate は、スレッシュホールド駆動型のゲインリダクションプロセスで、通常、信号のレベルがスレッシュホールドを下回ったときに減衰させるために使用されます。

例えば、スレッシュホールドをノイズフロアやバックグラウンドノイズのすぐ上に設定すると、メイン入力（音声、楽器など）が無音状態の時にゲートがソースを減衰させることができるようになります。



### THRESHOLD



ゲートのしきい値を調整します。

タブレット版では、水平方向の **THRESHOLD** フェーダーを搭載しています。オレンジ色の「T」ボールをドラッグすることができます。を、スマホ版、タブレット版ともにダイナミクスグラフィックで表現しています。

### ATTACK



ゲートのアタック値を調整します。

アタックタイムは、ゲートが開くスピードをコントロールします。時間は 1 秒以下のマイクロ秒単位です。

遅い信号のアタックでゲートが早く開き過ぎると、クリック音が発生することがあります。クリック音が消えるまでアタックタイムを長くするのが簡単な解決策です。パーカッシブな楽器には非常に速いアタックタイムを、それ以外の楽器には遅い時間（10ms 以上）を考えてください。

## HOLD



ホールドタイムを調整します。

ホールドタイムとは、ゲートが開いた状態で保持される最小時間のことです。ホールドタイムは、チャタリングを防ぐために、最低 20～30 ミリ秒に設定されることが多い。チャタリングとは、高速で変動する信号レベルにより、ゲートが常に開閉することです。

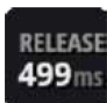
## DEPTH



ゲートの深さを調整します。



## RELEASE



ゲートリリースを調整します。

信号レベルがスレッシュホールドレベル以下になった後、ゲートが「減衰しないレベル」に戻るまでの速度です。



## GRM-METERING (GAIN REDUCTION METERING)

信号レベルを表示するメーターです。入力、出力、ダイナミクスによる信号の減衰量を表示します。



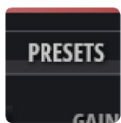
## RESET

ダイナミクスの設定を初期値に戻します。



## SOFT KNEE / HARD KNEE

コンプレッサーが効き始めるときの変化の度合いを設定します。HARD KNEE に設定すると変化が急峻になり、SOFT KNEE に設定すると緩やかになります。



## PRESET

ダイナミクス関係のプリセットを保存/取込を行います。

## COMPRESSOR

Ui24R Compressor セクションは、上部ツールバーの **Edit** タブでアクセス可能です。コンプレッサーは、ゲインリダクションを適用して信号のダイナミックレンジを縮小するために使用されるスレッシュホールド駆動プロセスです。

信号レベルがスレッシュホールドを超えたときに、「メイクアップゲイン」を適用して、全体のレベルを一定に保つことができます。

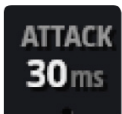
コンプレッションは、ピークレベルを上げずに信号の見かけ上のラウドネスを上げたり、過度にダイナミックなソースをコントロールするために使用できます。

コンプレッションは、ピークレベルを上げずに信号の見かけ上の大きさを上げたり、過度にダイナミックなソースをコントロールするために使用できます。



## スレッシュホールド

コンプレッサーのスレッシュホールドを調整します。左図 **T** ボールをドラッグして位置を決定します。タブレット端末の場合は水平スレッシュホールドフェーダーも使用できます。



#### ATTACK

コンプレッサーのアタック・タイムを設定します。信号がスレッシュホルドを超えてからコンプレッションを開始するまでの時間です。



#### RATIO

コンプレッサーの圧縮率を調整します。スレッシュホルドを超えた信号を圧縮する比率を決めます。Inf（無限）に設定するとリミッターになります。



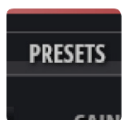
#### RELEASE

コンプレッサーのリリースタイムを設定します。信号がスレッシュホルド以下になってからコンプレッションが終了するまでの時間です。



#### GAIN

コンプレッサーのゲイン補正を設定します。コンプレッサーにより減衰した信号のゲインを補います。トータルゲインが増える場合があります。



#### PRESET

ダイナミクス関係のプリセットを保存/取込を行います。

#### HOLD



ホールドタイムを調整します。

ホールドタイムとは、ゲートが開いた状態で保持される最小時間のことです。ホールドタイムは、チャタリングを防ぐために、最低 20～30 ミリ秒に設定されることが多い。チャタリングとは、高速で変動する信号レベルにより、ゲートが常に開閉することです。

## AUX / FX SENDS

EDIT 画面の AUX SENDS と FX SENDS タブは、専用の AUX SEND と FX SEND ページの「ミックスビュー」アプローチとは対照的に、1つのチャンネルのすべての出力ソースにアクセスするために便利なタブです。

スマートフォンとタブレットのソフトウェア AUX SENDS ビュー/タブには、各センドに PRE/POST と MUTE ボタンがあります。

スマートフォンとタブレットソフトウェアの FX SENDS ビュー/タブには、FX プロセッサの設定を編集するための MUTE ボタンと選択項目があります。

スマートフォンでは、これらのいずれかをクリック/タッチすると、その FX プロセッサを編集するための詳細ビューに移動します。





## PATCHING

ローカル入力、マルチトラック USB A、マルチトラック USB-DAW にパッチを設定することができます。

クイックリセットと Patch1:1 により、パッチの設定やりセットをワンタッチで行うことができます。



## LOCAL

PATCHING 画面では、各チャンネルの入力ソース 1～20 または L/R Line In を選択することができます。

CHANNEL/EDIT/PATCHING を選択すると、各チャンネルで選択したソースを指定することができます。

## OVERVIEW

Overview タブでは、設定されているパッチと接続の全容を一目で把握することができます。これらの情報は、Overview で編集することができ、すべての変更はグローバルに行われます。

## USB-A

CHANNEL/EDIT/USB-A を使用して、2 トラックまたはステレオ USB ファイルを空きスロット 1-22 にパッチすることができます。

## USB-DAW

CHANNEL/EDIT/USBDAW を使用して、DAW から空きスロット 1~32 にマルチトラック USB ファイルをパッチすることができます。

## RESET

パッチ画面を素早く初期設定に戻します

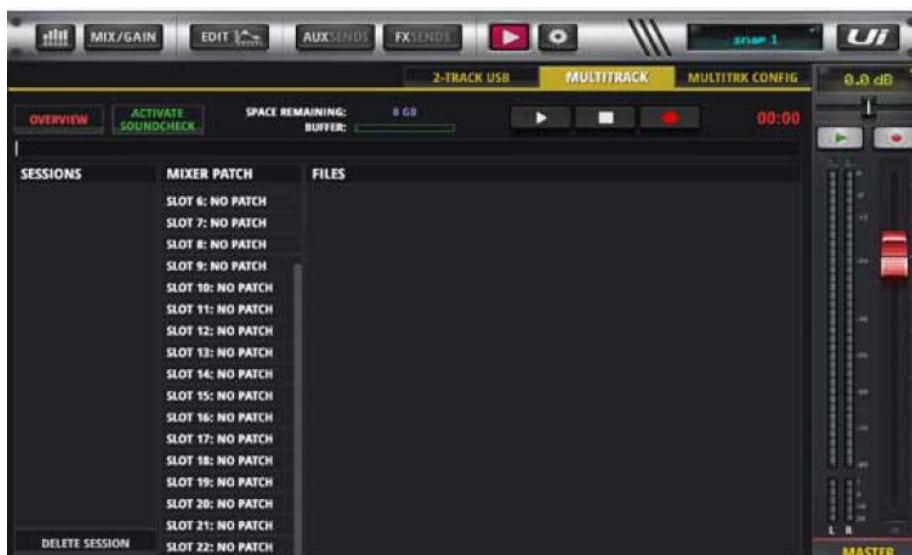
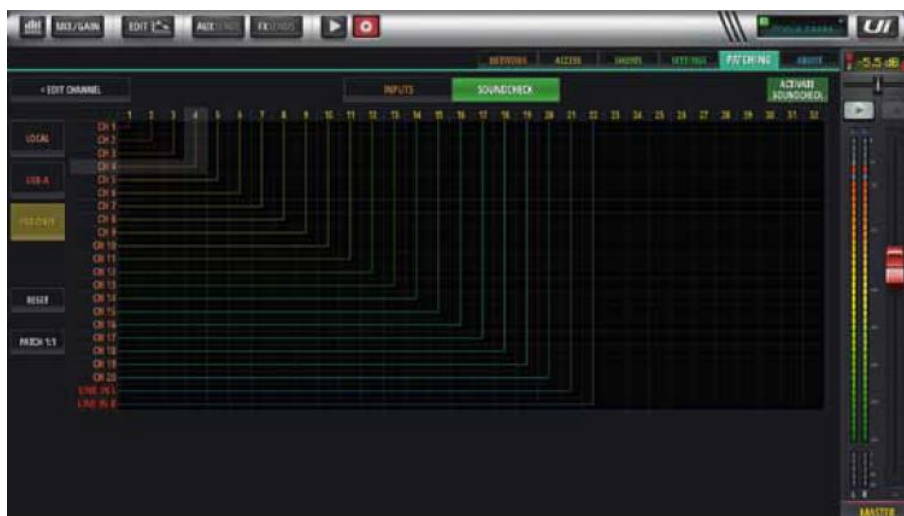
## PATCH 1:1

Patch 1:1 は、全チャンネルの物理入力とミキサーチャンネルを 1 対 1 で接続することで、簡単にパッチングを行うことができます。



## SOUNDCHECK

Soundtcheck は基本的に別のパッチセットです。例えば USB に録音したファイルを使ったトライアルミックスのセットアップや、ストレートなライブサウンドチェックの作業、またはその両方に使用することができます。セットアップは、通常のパッチ・アプリケーションと同じです。サウンドチェックモードを有効にすると、選択パネルが緑色になります。サウンドチェックを有効にするには、**SETTINGS>PATCHING>OVERVIEW PAGE** または **PLAYER>MULTITRACK PAGE** から行う 2 つの方法があります。





## SOUNDCHECK ASSIGN PAGE

Soundcheck Assign ページでは、選択したチャンネルのサウンドチェックパッチを割り当てます。



## SOUNDCHECK INDICATOR

サウンドチェックインジケータは、レベル 1 LCD パネルの左上隅に配置されています。Ui がサウンドチェックモードであることを示すために、このインジケータが表示されます。

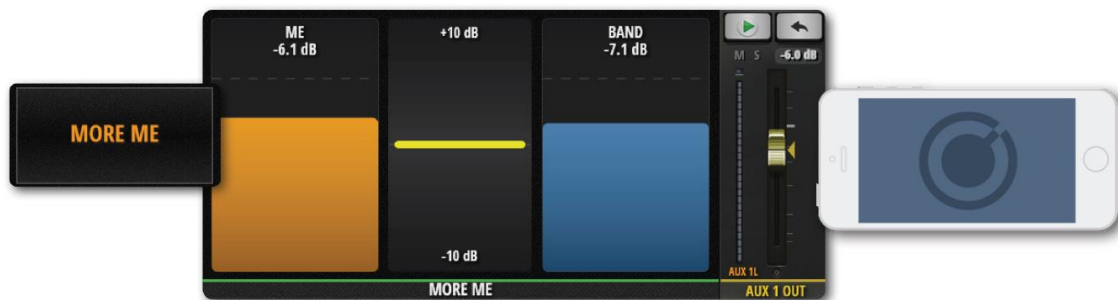
## VIEW グループ、MUTE グループ

本製品は、チャンネルを個別に、またはグループ単位でミュートすることができます。全部で 6 つのミュートグループを作ることができます。また、VIEW グループを作成し、ワンタッチでグループの入力チャンネルを表示することができます。例えば、全ボーカルチャンネルと AUX マスターを「VIEW GROUP 1」に設定することができます。スライドアウトパネルで利用できる「INPUTS」「FX RETURNS」「SUB GROUPS」「AUX MASTERS」ボタンは、便利な View Groups プリセットです。

ミュートグループ、ビューグループ（およびサブグループ）を割り当てるには、割り当てページに移動します。Tablet ソフトウェアの場合、Meters ページで適切なタブを選択するか、スライドアウトパネルでそれぞれのグループボタンを長押し/タッチしてください。その後、グループを選択し、必要に応じてチャンネルを割り当てるすることができます。







スマートフォンの場合、NAV メニューを開いて「MOREME」をタッチするか、緑色の AUX MASTER フェーダーをダブルタップして AUX SENDS 画面を表示し MOREME にアクセスします。MOREME 画面から AUX SENDS 画面に戻るには MOREME フェーダーの間をダブルタップします。

タブレット端末の場合は、スライドパネルから「MOREME」を選択します。

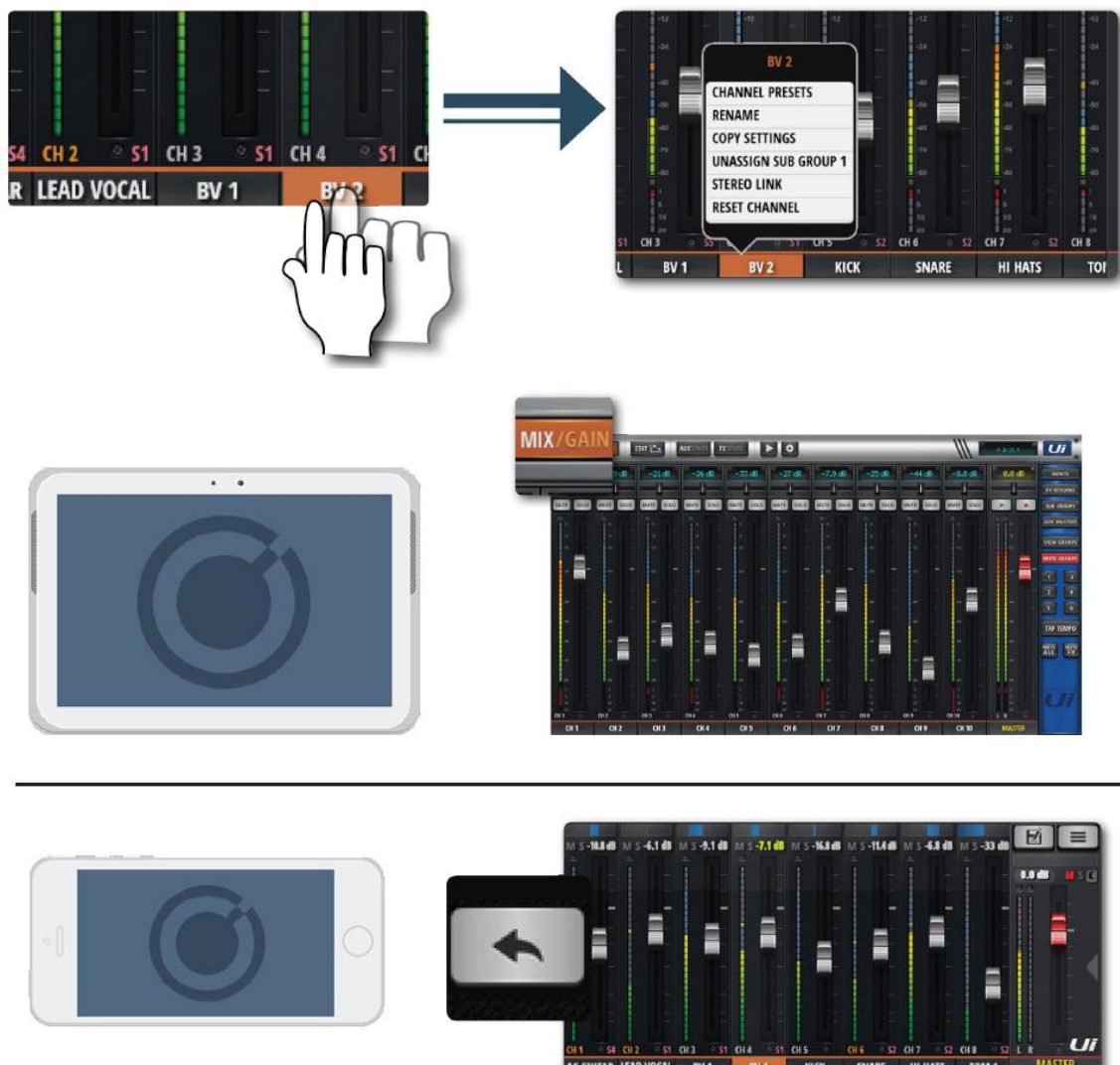
MOREME 画面は縦横どちらでも表示できます。

MOREME を使用するには、ME チャンネルを次の手順で指定する必要があります。

1. MIX 画面で設定するチャンネルのチャンネル・サブメニューを開きます。
2. チャンネル名を長押しして ASSIGN ME を選択します。
3. AUX 出力を指定します。
4. AUX MASTER フェーダーから AUX Master を長押しして ASSIGN ME OUT を選択します。

#### 注意

MOREME に指定されたチャンネル名はオレンジ色になります。



MOREME を縦向きで表示させるかどうかを設定することができるようになりました。フェーダー表示ページ (MIX、AUX、FX) を縦表示で操作し、フェーダーを「長く」操作したいユーザーもいます。

MOREME モード：

MOREME ON・ポートレートモードでは、自動的に MOREME ページが表示されます。

MOREME OFF・ポートレートモードの向きは、フェーダーを拡張した通常の GUI を表示します。一部の機能は、寸法制限のため、GUI 表示ではグレイアウトして表示されます。

MOREME MODE を変更する：

- SETTINGS-->SETTINGS タブのページに移動します。
- MOREME PORTRAIT MODE オプションを ON/OFF に設定します。



## FX EDIT

デジタル FX はミックスに深みと色を加えるのに使用されます。Ui12 は内部に 3 つの Lexicon FX プロセッサー（リバーブ、ディレイ、コーラス）を搭載しています。

Ui16 はさらにもう一つプロセッサーを搭載していて、異なる種類のリバーブかディレイ、どちらか選択できます。

内部 FX には専用の FX センドとリターンがあり、FX センドレベルとリターンレベルを調整できます。

FX Edit 画面からプリセットの保存/呼び出しができます。また、フェーダーを使ったパラメーター調整と表示機能もあります。



## REVERB

リバーブは閉じられた部屋にいるときに感じる音の残響であり、部屋の大きさ、形、壁の材質などにより変わります。



### TIME

リバーブタイム (msec) は残響が減衰するまでの時間です。残響が大きい部屋はこの時間が長くなります。



### HF

高域を減衰させて、より自然なリバーブを作ります



### BASS

ベースのゲインを調整します。リバーブにより弱められた低域を厚みのある音に再生することができます。また、時々リバーブにより失われることがある低域の明瞭さを再生します。



### LPF

ローパスフィルターです。高めに設定すると高域応答性を高め、輝きのあるリバーブを作ります。低めに設定すると低域を強調し暗めのリバーブを作ります。



### HPF

ハイパスフィルターです。低域をカットし、うなりやぼんやりした音を低減します。

## ディレイ

「ディレイ」はある音が最初に出てから同じ音を短時間に繰り返します。出力にディレイがかかり、入力にフィードバックされると「エコー」になります。一回のリピートが連続的になり、徐々にぼんやりしてきます。

ディレイの設定は msec、音符などいくつかの方法があります。

- DIV 画面を押してドロップダウンを表示し、設定可能な音符を選択します。



- 音楽を再生しながら「TAP TEMPO」ボタンを繰り返し押し、ディレイタイムを決めます。



- 「TAP TEMPO」ボタンを長押ししてディレイを BPM 単位で設定します。



#### TAP / BPM

「TAP TEMPO」ボタンをタップしながらディレイタイムを設定します。  
「TAP TEMPO」ボタンはスライド画面からも使用できます。



#### TIME

ディレイタイムを msec 単位で設定します。



#### DIV

ディレイタイムをテンポを音符を使用して設定します。DIV 画面を押してドロップダウンを表示し、設定可能な音符を選択します



#### FBACK

ディレイのリピート回数を設定します。徐々に聞こえなくなるまで連続的にディレイを繰り返します。値を大きく設定するとリピート回数が増え、小さく設定すると減らすことができます。ノブを時計回りいっぱいに戻すと、リピートはホールドされ、繰り返されなくなります。リピート・ホールドはディレイモードが Studio、Mono、Pong Delay のときのみ有効になります。



#### LPF

ローパスフィルターです。カットオフ周波数を設定し、高域をカットします。

## コーラス

コーラスは豊かなサウンドを作ります。2つ以上の音を組み合わせ、1つを基音として他の音をピッチを変えて少しオーバータイムをかけます。トラックを豊かにし、元のトーンを変えずにギターサウンドにしっかりとした厚みを与えます。さらにボーカルトラックに確かな厚みを加えることができます。



### DETUNE

音程をずらす量を決めます。



### DENSITY

コーラスの密度を調整します。コーラス密度を上げると厚みのある豊かなサウンドになります。



### LPF

ローパスフィルターです。カットオフ周波数を設定し、高域をカットします。

## EFFECTS SCREEN

エフェクト画面には4つのエフェクトパッチがあります。最初のパッチは高品質の Lexicon リバースで固定されていますが、他の3つは割り当て可能です。



エフェクト名をクリック&ホールドして  
ディレイやコーラスを素早く選択するためのメ  
ニューです。



エフェクト名をクリック&ホールドして  
ディレイやコーラスを素早く選択するための  
メニューです。



エフェクト名をクリック&ホールドして  
ディレイやコーラスを素早く選択するための  
メニューです。

## ショー&スナップショット

ショーはスナップショットをまとめたものです。スナップショットはコンソールで設定した全てを記録したもので、保存と呼び出し、表示ができます。

ミキサーで設定した全ての設定を一度に呼び出すことができます。一般的な使い方としては、曲毎に1つのスナップショットを撮ります。スナップショットリストは曲のリストと同じになるかもしれません。曲の終わりにスナップショットを切りかえて次の曲の準備を行います。



タブレットの場合、ショー&スナップショットを表示するには、設定画面、または画面上部のスナップショットを表示しているウィンドウをタッチします。マスターチャンネルの F1/F2 キーにスナップショットの保存/更新メニューを割り当てることもできます。

スマートフォンの場合、ショー/スナップショット・アイコンをタッチするか、スライド画面の F1 をスナップショットに割り当てます。

初期設定では **Default Show** と **\*Init\***スナップショットがセットされています。新しいショーを作成するときは **Default Show** を編集して保存します。初期設定に戻すには **Default Show** を呼び出します。

ショーをセットアップするには 設定画面から **SHOWS/SNAPSHOTS** を表示し、**SHOWS** をタッチしてから **NEW** ボタンをタッチします。最後にショーの名前を入力します。この画面からショー&スナップショットの作成、呼び出し、消去、名前変更ができます。

スナップショットを保存するには **SAVE** ボタンをタッチします。

呼び出されたショー&スナップショットは赤文字で表示されます。

スナップショットを撮ると現在選択されているショー内に保存されます。

スナップショットの消去は現在選択されているショー内でのみ可能です。呼び出されていないスナップショットを消去することはできません。消去しようとするエラーメッセージが表示されます。

## USB メモリーを使ったインポート/エクスポート

USB メモリーを本体に挿し込んでメモリー内のショーを取り込んだり、本体に保存したショーを USB メモリーに保存したりすることができます。

### エクスポート

ショーリストからショーを選択して **EXPORT** をタッチしてから **USB ドライブ** を選択し、**OK** をタッチします。

### インポート

**IMPORT** をタッチしてからインポートするショーを選択し **OK** をタッチします。

### チャンネル保護

スナップショットを呼び出しても、特定のチャンネル設定に影響を受けないようにすることができます。メイン画面の **SHOWS/SNAPSHOTS** から **CHANNEL SAFES** を表示し、変更されたくないチャンネルを選択して保存することができます。

### AFS2 Preset manager

**SNAPSHOT /SHOW** で **AFS2** 設定が保存されなくなりました。

**AFS2** のプリセットを接続した **USB メディア** に **LOAD/SAVE/RENAME/DELETE** する専用プリセットマネージャーを搭載しました。

**AFS2 PRESETS** をロード／セーブ／リネーム／デリートする：

- **AUX** または **MASTER EQ** の編集ページに移動します。
- **AFS2 SETUP** ボタンをクリック／タップします。
- **AFS2** フィルター表示プルダウン内の **PRESETS** ボタンをクリック/タップします。
- **PRESETS** マネージャーを使用して、**AFS2** プリセットを接続した **USB メディア** に **LOAD/SAVE/RENAME/DELETE** することができます。

# メディアプレーヤー&レコーダー

## プレイバック&レコーディング

Ui12 は USB メモリーから曲の再生、Ui16 は再生と録音ができます。メインステレオミックスを録音中に、このプレーヤーをバックトラックとして使用することができます。プレイバックは USB メモリー再生用 PLAYBACK L と PLAYBACK R チャンネルを使用します。



録音（Ui16）と再生は本製品に搭載されている USB ソケットに挿し込んだ USB メモリーを通して行われます。Ui16 はフロントパネルに録音再生用ソケット、Ui12 は再生用ソケットが 1 つあります。

 **MEDIA** アイコンをタッチするか、スマートフォンの場合 **PLAYER** メニューボタンをタッチします。

USB メモリーにある音楽ファイルはプレイリスト、またはファイルリストから再生することができます。

**PLAYER** チャンネル名を長押しするとチャンネル・メニューが開きます。

### Disable Stereo Link

ステレオチャンネルを 2 つのモノラルチャンネルに分けます。片チャンネルにオーディオ信号、もう片方にテンポ信号を入力するのに便利です。

## Place Before Inputs

PLAYER チャンネル・フェーダーをチャンネル 1 の前に移動し、最初のフェーダーとして使用できるようにします。

## File Types

USB メモリーに保存できる音楽ファイル形式は WAV、AAC、MP3、OGG、AIFF、FLAC です。これらのファイル形式で保存された音楽ファイルは USB メモリーを挿し込んでから MEDIA アイコンをタッチすると画面に表示されます。

## F1、F2 PLAY

タブレット端末では、マスターフェーダーの上にある F1、F2 ボタンに「次の曲を再生」する機能を割り当てることができます。（SETTINGS>CONFIG/SETUP）。これにより PLAYER ページを開かずに次の曲を再生することができます。プレーヤーがマニュアルモードのとき、曲が終わると自動的に再生が止まります。このとき F1、F2 を押すと次の曲を再生します。

## Manual / Auto

プレーヤーがマニュアルモードのとき、曲が終わると自動的に再生が止まります。オートモードのときはファイルリストにある次の曲が自動的に再生されます。

## Cue

プレイリストとも呼ばれ、再生する曲をリストします。F1、F2 PLAY ボタンを使用して続けて再生することができます。

## Recorder

RECORD ボタンを押してマスターステレオ出力を録音することができます。この機能は F1、F2 ボタンに割り当てすることもできます。

## 2TK USB

Ui24R で 2 トラックステレオ USB 録音が可能です。  
シャッフルボタンを新設。

## MTK USB Record

Ui24R は、2 トラックのステレオ録音に加え、最大 22 トラックのマルチトラックレコーディングが可能です。その後、DAW ソフトウェアに取り込んで、さらに加工やマスタリングを行うことができます。

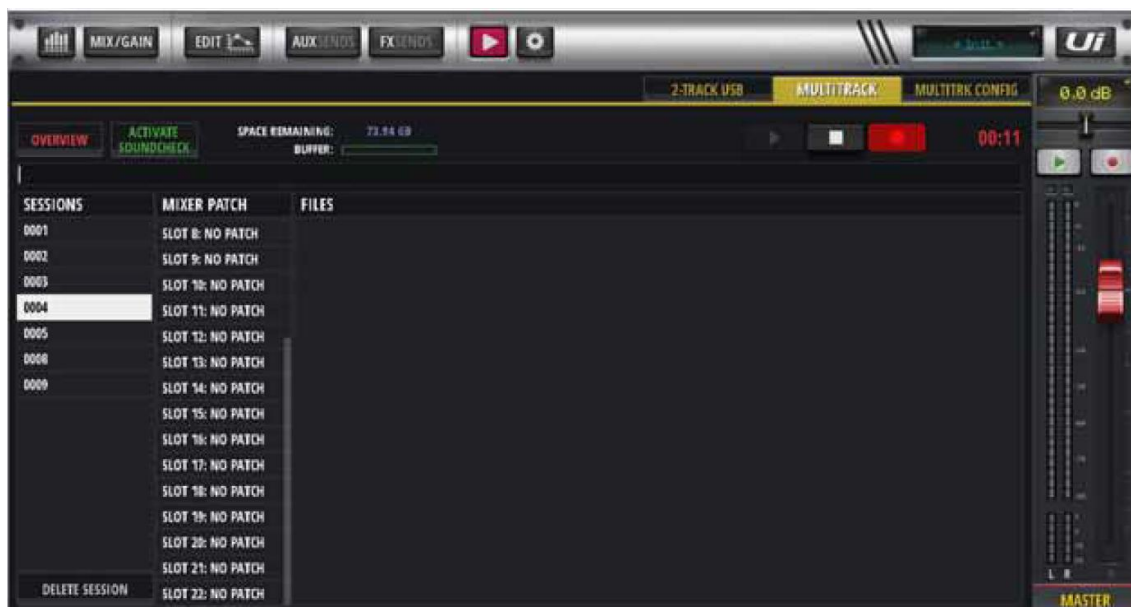


## MTK USB Playback

マルチトラックで録音した音源は、GUI で再生してリミックスすることができます。新しい会場でミュージシャンが来る前に試しにミックスしたり、バックイングトラックとして使用するのに最適な機能です。

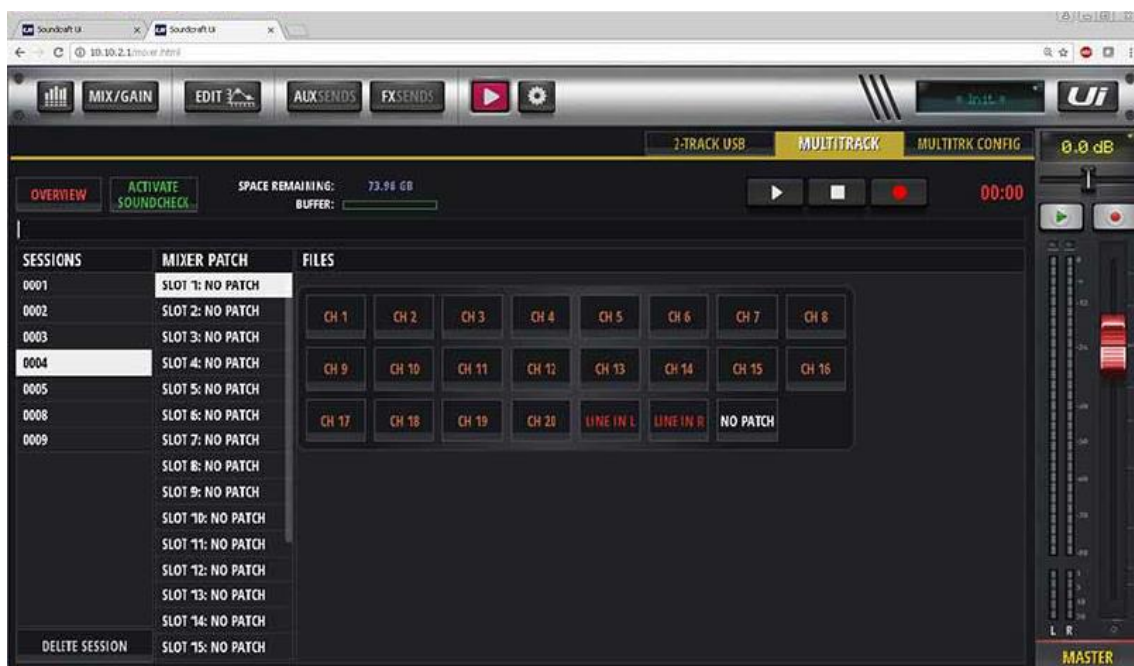
### 注意

MTK 再生・記録用 USB スティックを前面の記録スロットに挿入する必要があります、22 トラックの同時記録を可能にするためには、挿入したメディアの USB 書き込み・読み込み速度が適合している必要があります（ミキサーインターフェイスのバッファ設定により、バッファサイズと書き込み速度を決めます。）。



## MULTI-TRACK PLAYBACK & RECORDING FROM USB

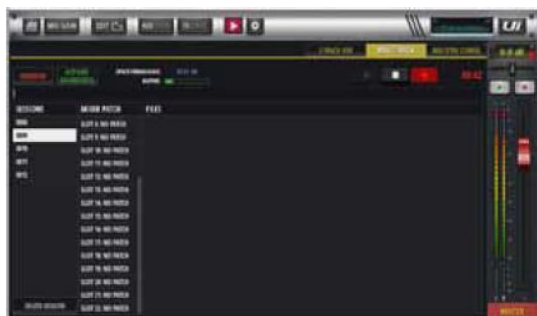
U24R は、USB から最大 22 トラックまでのマルチトラック再生・録音が可能です。パッチは、ミキサーパッチスロットをダブルクリックすると、ミキサーパッチ割り当てプルダウンが表示され、設定することができます。変更した場合は、全体に反映されます。この画面には、セッション、ミキサーパッチ、ファイルが表示されます。セッション番号をクリックすると、再生アイコンで再生、停止ボタンで停止、録音ボタンで録音の開始、停止ができます。



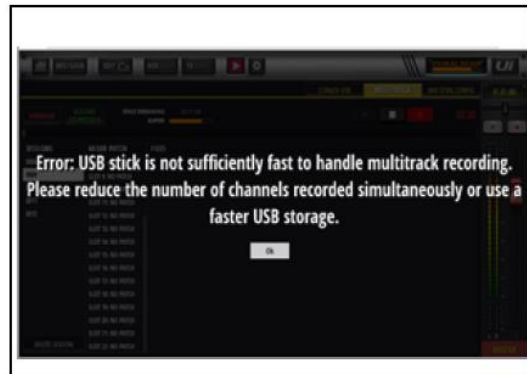
## USB STICK COMPATIBILITY

Ui24R は、ほとんどの USB メモリーと互換性があり、2トラックの再生と録音が可能です。マルチトラック USB 再生 は、最低でも USB3.0、転送速度 25mb/s が必要となります。

## SPEED BUFFER INDICATOR



スピードバッファインジケータは、USB 再生・録画時の転送レートを監視するものです。バッファの値が増加すると、スピードバッファインジケータは緑→黄→オレンジと変化し、最後にエラーメッセージが表示されます。マルチトラックの転送速度の最小要件は 25mb/s です。



## PLAYBACK & RECORDING FROM USB-DAW

USB-DAW のパッチは、各チャンネルのパッチング画面内で行うことができます。



## USING THE USB-DAW PROCESSING AS AN INSERT WITHIN THE Ui24R



### DAW の入力チャンネルを選択する

USB 経由で DAW に録音する場合

チャンネル 1～2 はマスター左/右フェーダーとなります。

チャンネル 3～10 は AUX1～8 となります。

チャンネル 11～32 は、チャンネル 1 以降になります。

## SETTINGS

SETTINGS ページは基本的なシステム設定、ネットワーク（WiFi アクセスポイントのパスワードを含む）、画面設定、アクセス制限などを行うことができます。スマートフォンとタブレット端末では多少異なる画面があるものの、どちらの端末からでも全ての機能にアクセスできます。



SETTINGS 画面の右上にある PRESETS ボタンをタッチして USB メモリーから画面設定を呼び出したり、保存したりすることができます。

### GLOBAL

#### HEADPHONES OUT

##### MASTER/SOLO、AUX

ヘッドホン出力に対する音源を選択します。通常は MASTER/SOLO を選択します。AFL/PFL が選択されているとき、マスターチャンネル出力、または Solo バスをヘッドホンに接続します。Ui12 は 3/4 チャンネル、Ui16 は 5/6 チャンネルが AUX 出力端子へ出力されます。

#### SOLO ROUTING

##### HEADPHONES、MASTER + HP

チャンネルが SOLO に選択されたとき、SOLO バスをヘッドホンだけに出力するか、ヘッドホンとマスターに出力するかを選択します。

#### SOLO MODE

##### SINGLE、MULTIPLE

SINGLE : 新しい SOLO を選択すると、前の SOLO は解除されます。

MULTIPLE : 新しい SOLO を選択しても、前の SOLO は解除されずに残ります。

## SOLO TYPE

### AFL、PFL

PFL (Pre Fade Listen) : SOLO モニターレベルはフェーダーの影響を受けません。フェーダーレベルを下げててもモニターレベルは変わりません。

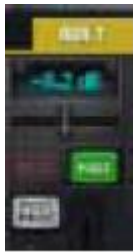
AFL (After Fade Listen) : SOLO モニターレベルはフェーダーの影響を受けます。

## TRK RECORD MODE

### 32-bit、24-bit、16-bit

レコーディングのサンプルレートを選択します。

## AUX SEND MUTE INHERITENCE



グローバル設定に影響を与える Aux ミュートは、ポストモードのみオン/オフの設定が可能です。継承とは、メインミキサーのミュートボタンの状態を Aux センドにも反映させるか、ミュートは各ミキサー（メインと Aux）で個別に処理することです。

## HEADPHONE 1 and 2 VOLUME CONTROLLERS and SOLO level

ヘッドホン出力 1、2 のボリュームは、GUI 内でコントロールできます。インターフェイス上のヘッドホンボリュームポットは、ヘッドホン 1 出力のボリュームのみをコントロールします。Solo は、ヘッドフォンへの Solo のレベルをコントロールします。

## GUI PERFORMANCE

### FRAME RATE

FULL、1/2、1/3、1/4

ソフトウェアの描画性能を最適化します。

## DISABLE RESCALING

### ON、OFF

画面にフィットするように表示倍率を自動的に調整します。頻繁に変わる場合、OFF に設定してください。

## DISABLE LED METERS



## OFF、ON

CPU 実行速度の遅いスマートフォンやタブレット端末を使用している場合、CPU 使用率を下げるため、LED チャンネルメーター表示を OFF にします。



## LOCAL

### MASTER LOCK

## ON、OFF

ON にすると、マスターチャンネル・フェーダーが画面に固定され、他の画面はそれ以外のエリアに表示されます。

### HOLD FADER FOR FINE TUNING

## OFF、ON

フェーダー微調整モードを許可する。

### METER QUANTISATION

## OFF、ON

各メーターを LED バーグラフタイプではなく、数字表示に切りかえます。

### FADERGLOW

## OFF、THIN、NORM

フェーダー下のラインの種類を消去、細いライン、標準から選択します。フェーダーの種類を一目で認識できるようになります。（FX は青、AUX はオレンジなど）

## **DISABLE VU INPUT LEVEL**

### **OFF、ON**

VU メーターの表示/非表示を選択します。

## **DISABLE VU PEAK**

### **OFF、ON**

VU メーターのピークインジケーターを無効/有効にします。

## **HIDE COMP/GATE**

### **OFF、ON**

ON の場合、各チャンネルメーターの下に、短い LED ゲインメーター（赤）を表示させます。

## **DIM LED METERS**

### **OFF、ON**

メーターの明るさを調整します。

## **PIN SLIDEOUT IN MIX MODE**

### **OFF、ON**

ON の場合、SlideOut 画面を常に表示します。

## **PIN SO FOR AUX/FX SENDS**

### **OFF、ON**

このオプションをオンにすると、Aux Sends ページに Ui SlideOut が常に表示され、その画面に移動するたびに再オープンする必要はありません。

## **KINETIC SCROLL**

### **OFF、ON**

連続画面スクロールモードを ON/OFF します。ON の場合、スワイプして画面をスクロールすることができます。OFF の場合、画面から指を離すとスクロールが止まります。

## **MIXER SCROLLING**

### **1 FINGER、2 FINGER**

1 本指、または 2 本指スワイプを選択します。



## PATTERNED BACKGROUND

**OFF, ON**

パターンバックの有効化、無効化。

## MOREME PORTRAIT MODE

## OFF、ON

Moreme ポートレートモードの有効・無効を設定します。

## PEDAL FUNCTION

## MUTE FX

イネーブルペダルによる FX のミュート

## MUTE ALL

イネーブルペダルによる全チャンネルミュート

## PLAY

## イネーブルペダルによる USB 再生起動

## RECORD

## イネーブルペダルによる USB レコードの起動

## TAP TEMPO

タップテンポ機能によるディレイテンポをペダルで設定できるようにする。

## MTK PLAY

## USB や DAW からの MTK 再生を有効にするペダル

## MTK RECORD

ペダル操作でMTKを起動し、USBやDAWへの録音を可能にします。



## **BUTTON FUNCTION**

### **F1、F2**

#### **NEW SNAPSHOT、UPDATE CURRENT SNAPSHOT、PLAY、RECORD**

ファンクションキーF1 と F2 に上記の機能を割り当てます。

## **LANGUAGE**

### **ENGLISH、CHINESE、**

使用言語を選択します。初期設定では英語が選択されます。

#### **GLOBAL PRE-FADE AUX SEND POINT – PRE-PROCESSING / POST-PROCESSING**

AUX の送信信号が Pre-Processing または Post Processing としてグローバルに定義できるようになりました。

プリプロセッシング -AUX 送信信号には、チャンネルに適用された EQ/DYNAMICS は含まれません。

ポストプロセッシング -AUX 送信信号には、チャンネルに適用された EQ/DYNAMICS が含まれます。

GLOBAL AUX SEND POINT を設定する：

- SETTINGS--SETTINGS タブページに移動する

GLOBAL AUX SEND POINT オプションを PRE PROCESSING または POST PROCESSING に設定します。

## **SYNC ID**

Sync ID は、同じコンピュータやデバイス上の複数のブラウザウィンドウやタブ、異なるディスプレイ、デバイス間でもチャンネルの同期を維持することができます。

MIX、EQ、DYN、FX など、あらゆるビューモードで複数の GUI ウィンドウを開き、チャンネル同期を維持できるようになりました。

SYNC ID が有効になり、同じ公称 SYNC ID に設定されると、それらを使用することができます。任意の GUI ページでのチャンネル選択 を選択すると、他の同期しているすべてのブラウザウィンドウがそれに応じてチャンネル同期を更新することになります。

Sync ID を有効にするには：

- **SETTINGS-->SETTINGS** タブのページに移動します。
- **SYNC SELECTED CHANNEL** オプションを "ON" に設定します。
- **SYNC ID:**」欄をクリック／タップして、任意の ID を設定します。例) "あなたの名前"
- 別のデバイスやブラウザのタブなどで、別の GUI を開きます。**SYNC SELECTED CHANNEL** を有効にし、**SYNC** であることを確認します。

ID：は、最初の GUI で選択したのと同じノミナル ID に設定されています。

チャンネル同期を維持したまま、タブやデバイスごとに異なるビューを持つことができるようになりました。なお、複数の SYNC ID は Ui ミキサーで同時進行が可能です。

## LOCAL USER GUI PRESETS

クライアント側のローカルユーザー設定をプリセットとして接続メディアに保存/ロードできるようになりました。これにより、ユーザーはデバイスを変更するたびに GUI を設定することなく、あらかじめ設定したローカルユーザープリセットを持ち運びながら、簡単にデバイスを変更することができます！

クライアント側のローカル GUI 設定は、**SETTINGS-->SETTINGS** タブページの「LOCAL」で確認できます。スライドパネルの固定、コンプ/ゲートの非表示、1、2 本指スクロール、**MOREME** ポートレートモードなど、ユーザーのクライアントサイドアプリケーションに関連する GUI オプションを、ローカル設定プリセットとして保存できるようになりました。

**LOCAL SETTINGS PRESETS** をロード/セーブ/リネーム/デリートするには：

- **SETTINGS-->SETTINGS** タブのページに移動します。
- 下にスクロールして、「**LOCAL SETTINGS PRESETS**」ボタンをクリック／タップします。
- **PRESETS** マネージャーを使用して、ローカルセッティングプレゼットを接続した USB メディアに **LOAD/SAVE/RENAME/DELETE** することができます。

## LOCAL USER GUI RESET TO DEFAULT

ローカルクライアント側のユーザー設定を初期値に戻すことができるようになりました。

**LOCAL SETTINGS** を初期値に戻すには：

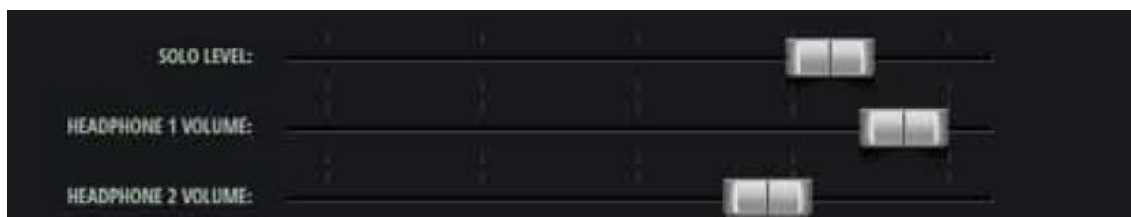
- **SETTINGS-->SETTINGS** タブのページに移動します。
- 下にスクロールして、「ローカル設定のリセット」ボタンをクリック／タップします。
- ローカル GUI の設定がデフォルト値にリセットされ、GUI が自動的に再起動されるようになりました

## MONITOR ACCESS LIMIT

このタブ/ビューは、ユーザーごとに機能へのアクセスを制限するアクセス権を管理します。一般的なセットアップでは、複数のユーザーが Ui ソフトウェアにログインし、それぞれがモニターミックスを行うことがあります。誤ってフロントハウスミックスを変更してしまう可能性を減らすために、ユーザーのアクセスを制限することは理にかなっています。この機能はパスワードで保護されているわけではなく、他のユーザーによるミックスの偶発的な破損を防ぐための安全策を目的としています。特にモニターのアクセス権を設定する際に便利です。

## Solo and headphone levels

ヘッドホン 1 または 2 の出力音量と、相対的な SOLO レベルをデジタルで設定することができます。

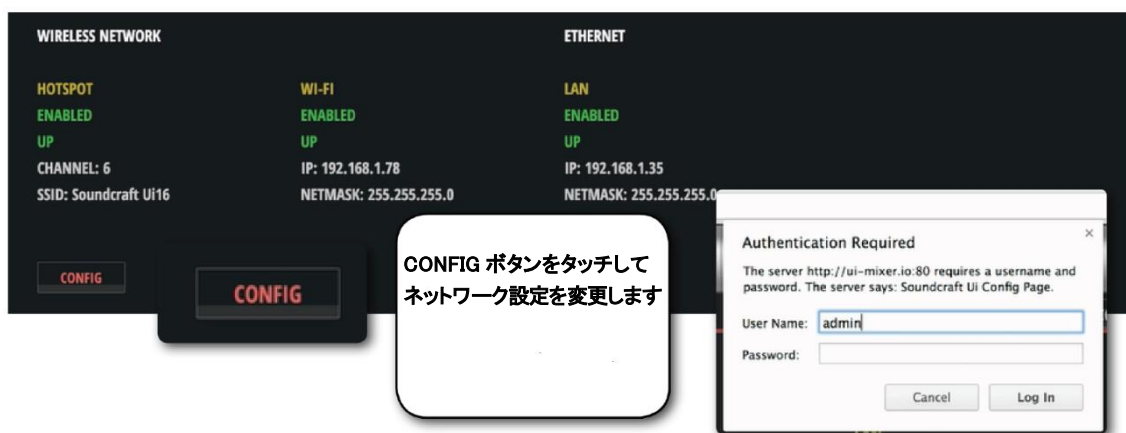


# NETWORK CONFIG

## NETWORK

Ui Config ページでは、Hotspot の無線接続の有効/無効の設定や編集を行うことで、以下のことができます。ダイレクト接続 (HOTSPOT)、WiFi ネットワーク接続 (WI-FI)、有線 LAN 接続 (LAN) の3つのネットワークモードを設定します。

また、管理パスワードの変更ページや、要約の「ネットワーク状態」ページもあります。



デフォルトの管理用ユーザー名は「admin」、デフォルトの管理用パスワードは「admin」です。

CONFIG ボタンをタッチすると、これらの入力が求められます。UI24R をホットスポットとして使用するか、または、外部の Wifi ネットワークに接続します。LAN は無効化されていない限り、いつでも利用可能です。

The screenshot shows the 'Soundcraft UI Config' interface. At the top, there are navigation tabs: 'Harpol Configuration', 'Wi-Fi Configuration', 'LAN Configuration', and 'Administrator Password' (which is highlighted). Below these tabs is a 'Network State' link. The main content area has a heading 'Administrator Password' and a sub-heading 'Change the UI administrator password. If you forget this password you will have to reset the UI hardware.' There are three input fields: 'Current' (labeled 'Current Admin Password'), 'New' (labeled 'New Admin Password'), and 'Confirm' (labeled 'Confirm New Admin Password'). At the bottom right of the form are two buttons: 'Cancel/Exit' (orange) and 'Save/Update' (green). A note at the top of the main area says 'Please power cycle the mixer after changing the parameters on this page.'

## 注意

初期設定において、管理者名は **admin**、パスワードは **admin** です。下図の画面から変更することができます。

本機のネットワーク設定を工場出荷時の設定に戻すには、ハードウェアリセット の手順に従ってください。

## ダイレクト接続（HOTSPOT）

スマートフォンやタブレット端末とダイレクト接続モードで接続し、コントロールすることができます。Hotspot Configuration から設定を変更し、Save/Update ボタンを使用して保存します。変更した設定を有効にするには本製品の電源を ON/OFF する必要があります。

The screenshot shows the 'Soundcraft Ui Config' web interface. At the top, there are navigation tabs: 'Hotspot Configuration' (selected), 'Wi-Fi Configuration', 'LAN Configuration', and 'Administration/Settings'. Below the tabs, a message states: 'Please power cycle the mixer after changing the parameters on this page.' The main section is titled 'Hotspot' and contains the following settings:

- 'Enable the UI's internal Hotspot (AP)' with 'Enabled' and 'Disabled' buttons. The 'Enabled' button is highlighted with a yellow box. A 'Reset Default' button is also present.
- 'SSID' with a text input field containing 'Soundcraft Ui24' and a dropdown arrow.
- 'SSID Broadcast' with 'Enabled' and 'Disabled' buttons.
- 'Wireless Regulatory Domain' with a dropdown menu showing 'Other / Unlisted'.
- 'Channel (ignored when remote WiFi is configured)' with a dropdown menu showing 'Channel 6, 2.437 GHz'.
- 'Security' with 'None' and 'WPA2' buttons.

Save/Update ボタンを使用して、Hotspot の設定を保存します。

重要：ホットスポットとクライアント WIFI を同時に有効にすることはできません。

### Hotspot

#### Enable/Disable

ダイレクト接続を有効/無効にします。

#### SSID

本製品のネットワーク ID です。初期設定では Soundcraft Ui になっています。

## Wireless Regulatory Domain

WiFi を使用する国、地域を選択します。本製品は電源などが日本国内仕様となっているため、Japan を選択してください。

## Channel

WiFi で使用するチャンネルを選択します。

## Security

### None/WPA2

WiFi のセキュリティを選択します。安全のため WPA2 を選択してください。  
パスワードは scuiwlan です。

## ENABLE/DISABLE BROADCAST、HOTSPOT NETWORK SSID

Ui networks のホットスポットの SSID のブロードキャストを有効または無効にするオプションが追加されました。

Ui のホットスポットの SSID のブロードキャストを有効/無効にする：

- SETTINGS (設定) --> NETWORK (ネットワーク) タブページにアクセスします。
- CONFIG を選択します (管理者認証でログインする必要がある場合があります、デフォルトは admin/admin です)。
- HOTSPOT CONFIGURATION を選択します。
- SSID BROADCAST オプションを ENABLED または DISABLED に設定します。
- 設定を反映させるために、Ui ミキサーを再起動します。

## NETWORK INTERFACE MAC ADDRESS VISIBILITY

Web アプリケーションの GUI で、ネットワークインターフェイスの MAC アドレスが表示されるようになりました。

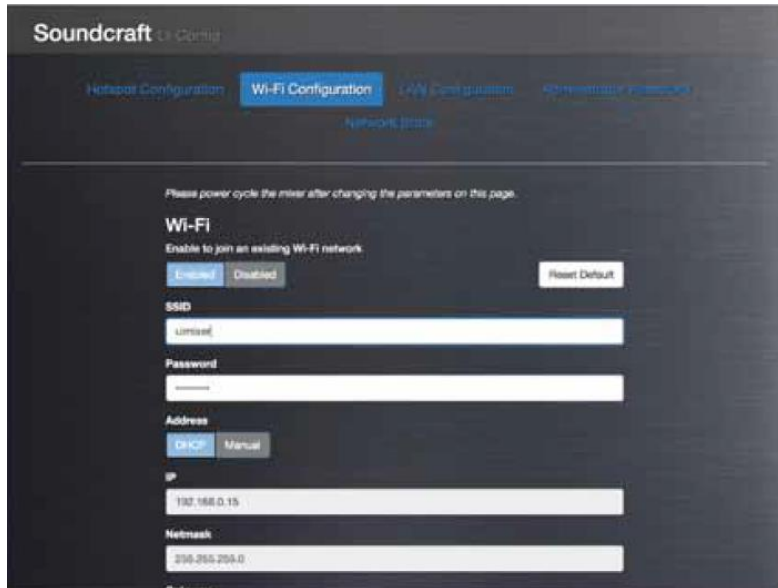
ネットワークインターフェイスの MAC アドレスを表示するには：

- SETTINGS-->NETWORK タブのページに移動します。
- アクティブなインターフェイスの MAC アドレスは、各インターフェイスのネットワーク詳細リストで表示されます。



## Wi-Fi

本製品は WiFi ネットワークに接続してコントロールすることができます。設定を変更した場合、**Save/Update** ボタンを使用して保存します。変更した設定を有効にするには本製品の電源を ON/OFF する必要があります。



## Wi-Fi

### Enable / Disabled

WiFi ネットワークを有効/無効にします。

### SSID

接続する WiFi ネットワーク ID を入力します。

### Password

接続する WiFi ネットワークのパスワードを入力します。

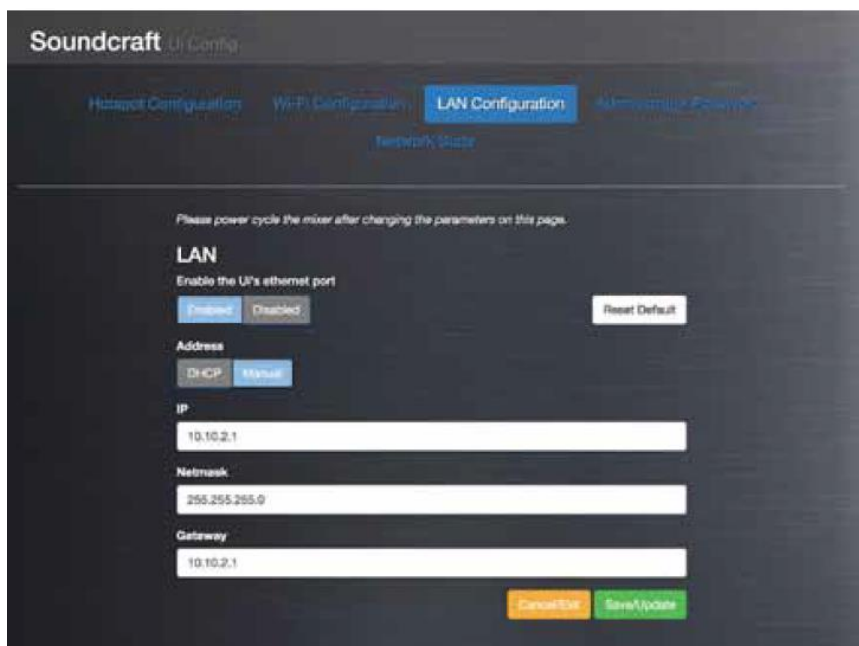
### Address

#### DHCP / Manual

DHCP、または手動でネットワーク設定を行います。

## 有線 LAN 設定

本製品のサイドパネルにあるイーサネット・ポートに LAN ケーブルを接続してシステムをコントロールします。設定を変更した場合、Save/Update ボタンを使用して保存します。変更した設定を有効にするには本製品の電源を ON/OFF する必要があります。



The screenshot shows the 'Soundcraft UI Config' interface. At the top, there are tabs for 'Hotspot Configuration', 'Wi-Fi Configuration', 'LAN Configuration' (which is selected), and 'Administrative Functions'. Below the tabs, a message states: 'Please power cycle the mixer after changing the parameters on this page.' The 'LAN' section includes a toggle for 'Enable the UI's ethernet port' with 'Enabled' and 'Disabled' buttons, and a 'Reset Default' button. Under the 'Address' section, there are 'DHCP' and 'Manual' buttons. The 'IP' field is set to '10.10.2.1', the 'Netmask' field is set to '255.255.255.0', and the 'Gateway' field is set to '10.10.2.1'. At the bottom right, there are 'Cancel/Exit' and 'Save/Update' buttons.

### 初期設定

IP アドレス : 10.10.2.1

サブネットマスク : 255.255.255.0

LAN ケーブル : ストレート、クロスどちらでも使用可

コンピューター側 IP アドレス : 本製品と同じネットワークの IP アドレスを使用してください。例 : 10.10.2.5 など。

### LAN

イーサネット・ポートを有効/無効にします。

#### Address

DHCP / Manual

DHCP、または手動でネットワーク設定を行います。



## HARD LOCK (ADMIN/PASS) ACCESS LIMITATIONS

マスターパスワードによるアクセス制限機能は、マスターパスワードでログインしたユーザーが、他の接続ユーザー（マスターパスワードを知らない、つまりログインしていないユーザー）に対して、ミキサーの設定を幅広く変更できます。

MASTER PASSWORD PROTECTION を有効にする：

- SETTINGS-->ACCESS タブのページに移動します。
- ENABLE ボタンを選択します。
- マスターパスワードを設定します。

注：MASTER PASSWORD PROTECTION を有効にすると、自動的にログインします。

MASTER PASSWORD PROTECTION を無効にする：

- SETTINGS-->ACCESS タブのページに移動します。
- DISABLE ボタンを選択します。
- マスターパスワードを入力します。

ログインして、ALLOW CLIENT ACCESS FOR を設定する：

ログインしているユーザーは、ログインしていないユーザーに対して、以下のようにミキサーの特定の部分へのアクセスを許可することで、グローバルなクライアントアクセスの制限を定義することができます：

ログインして、**ALLOW CLIENT ACCESS FOR** を設定する：

ログインしているユーザーは、ログインしていないユーザーに対して、以下のようにミキサーの特定の部分へのアクセスを許可することで、グローバルなクライアントアクセスの制限を定義することができます：

**AUX LEVELS - AUX PROCESSING - MIX LEVELS - MIX PROCESSING - MIX GAIN - PLAYER - MASTER LEVEL - MASTER PROCESSING - SHOWS - GLOBAL SETTINGS**

### **LOCAL AUX CONTROL (SOFT ACCESS ENABLER)**

AUX コントロールのためのローカル・クライアントソフト・アクセス機能は、非ログインユーザー向けに提供されます。マスターユーザーが **AUX LEVELS** または **AUX PROCESSING** のいずれかのアクセスを許可している場合、ユーザーは制御したい AUX を定義することができます。

### **Resetting a lost MASTER PASSWORD:**

忘れてしまったマスターパスワードをリセットするには、**masterpass.txt**（トップディレクトリ）という空のファイルが入った **USB** ドライブを接続し、ユニット側面の **RESET** ボタンを押しながらユニットの電源を入れます。**RESET** ボタンを押したまま、上部パネルの **WiFi LED**（青色）の点滅が止まるまで、**RESET** ボタンを押したままにします。マスターパスワードはリセットされます。

# トラブルシューティングガイド

## 音が出ない？

ミキサーを使用していて経験する最も多いトラブルは、入力した音が出力されないことです。様々な原因が考えられるなか、問題を解決する一番良い方法は、信号パスを追っていき、信号が切れている所を見つけることです。

さらに信号ルート、入出力設定、Solo / Mute Group の状態を確認します。

信号パスについては**入力チャンネルルート**（16 ページ）を参照してください。

## Solo は無効になっていますか？

Master Channel の「S」（黄色）が点灯していないか、または DASHBOARD ページに有効な Solo（黄色）がないかをチェックしてください。

有効になっている Solo を全て、または個別にクリアしてください。

DASHBOARD 画面の CLEAR SOLO を使用することもできます。

SETTING により MASTER + HP Solo モードが無効になっている場合、Solo の状態はメイン L/R、または Mono 出力に影響ありません。

全ての有効な Solo を個別に、または DASHBOARD 画面の CLEAR SOLO を使用してクリアしてください。

## 入力をチェックしてください。

入力ケーブルが正しく接続されているかチェックしてください。入力端子番号と画面の入力チャンネル番号が合っているか確認してください。

## メーターの値をチェックしてください。

入出力メーターをチェックすることにより、広範囲に広がる問題を絞り込むことができます。

チャンネルメーターは Mic/Line 入力後の信号レベルを表示します。これによりそのチャンネルの入力をチェックすることができます。

出力メーターは出力信号の状態をそのまま表します。

## 位相は合っていますか？

位相は同時に 2 つ以上のチャンネルに同じ信号を入力したとき問題になります。

位相の問題かどうかをチェックするには、どちらかのチャンネルにある位相スイッチを ON にして確認することができます。もし、音が出るようになったときは、位相の問題が発生している可能性があります。バランス入力ケーブルの配線をチェックするなどの対策を行ってみてください。

#### **ゲートが閉まっていませんか？**

ゲートにより全部の信号をカットするように設定されていることがあります。スレッシュホールドが高すぎて信号がゲートをオープンするレベルに達しない場合、音がでません。これをチェックするには、チャンネル EDIT の DYN タブから有効なゲートをバイパスしてみます。

#### **ミュートが有効になっていませんか？**

DASHBOARD 画面から Mute Groups、MUTE ALL、MUTE FX ボタンを押して個々のチャンネルをミュートすることができます。これらのミュート状態をチェックしてください。

#### **入力信号に対してフェーダーは十分上がっていますか？**

入力信号に対してチャンネル・フェーダーが十分に上がっているかチェックしてください。プリフェーダー信号はフェーダーの影響を受けません。

#### **出力信号に対してフェーダーは十分上がっていますか？**

出力信号に対してチャンネル・フェーダーが十分に上がっているかチェックしてください。プリフェーダー信号はフェーダーの影響を受けません。

#### **出力端子からの出力に問題はありませんか？**

出力メーターに信号がある場合、端子からケーブル以降に問題がある可能性があります。



※この取扱説明書に記載されている商品名、会社名などは、その会社の商標登録です。  
また、掲載されている図、写真などの著作権はその会社にあります。